

秋田県こども計画策定のための 若者の意見調査結果

令和6年7月

秋田県あきた未来創造部
次世代・女性活躍支援課

秋田県こども計画策定のための基礎調査について

1 調査の名称

秋田県こども計画策定のための基礎調査

2 調査の目的

秋田県こども計画を策定するに当たり、若者の意見や意識、支援ニーズ等を調査し、若者のための施策等を検討するための基礎資料とします。

3 調査の対象者等

(1) 調査の対象者

秋田県に居住する若者（おおむね18歳～39歳程度を想定）

(2) 対象者数

約15万人（秋田県調査統計課「令和5年秋田県の人口」より）

4 調査の方法

(1) WEBアンケートフォームへの回答方式（PC及びスマートフォンによる回答）

(2) 周知方法

- ・県内大学、短期大学、高等専門学校、各専修学校等への周知依頼
- ・各報道機関への情報提供
- ・県公式X（旧Twitter）及びFacebookへの掲載
- ・庁内グループウェアへの掲載（県若手職員への回答依頼）

5 調査期間

令和6年5月1日から5月31日まで

6 回答数

740件

募集チラシ（現在は受付終了しています。）



問1 あなたの年齢を教えてください。

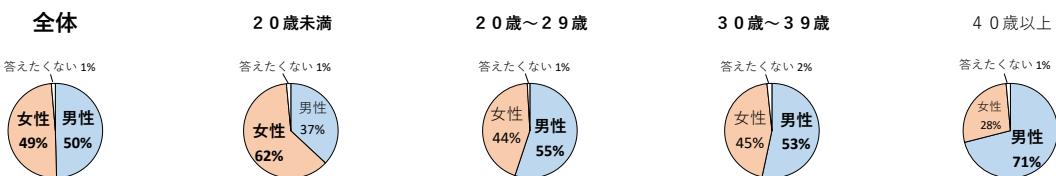
回答	総数
20歳未満	268
20歳～29歳	225
30歳～39歳	178
40歳以上	69
合計	740

件（以下同じ。）



問2 あなたの性別を教えてください。

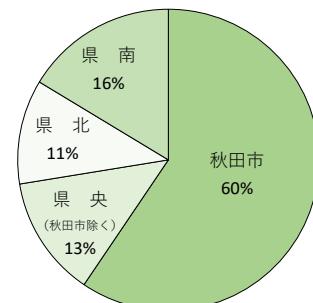
回答	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
男性	367	99	124	95	49
女性	363	165	99	80	19
答えたくない	10	4	2	3	1
合計	740	268	225	178	69



問3 あなたが現在住んでいるところを教えてください。

県央					県北						
	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上		総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
秋田市	440	135	132	124	49	鹿角市	5	1	2	2	0
男鹿市	16	10	2	2	2	大館市	18	1	10	5	2
潟上市	31	18	5	7	1	北秋田市	14	1	6	6	1
由利本荘市	33	14	7	8	4	能代市	37	19	13	2	3
にかほ市	5	4	1	0	0	小坂町	0	0	0	0	0
五城目町	2	1	1	0	0	藤里町	0	0	0	0	0
八郎潟町	6	5	1	0	0	三種町	6	3	3	0	0
井川町	1	0	0	1	0	八峰町	3	2	1	0	0
大潟村	2	0	1	1	0	上小阿仁村	0	0	0	0	0
計(秋田市除く)	96	52	18	19	7	計	83	27	35	15	6

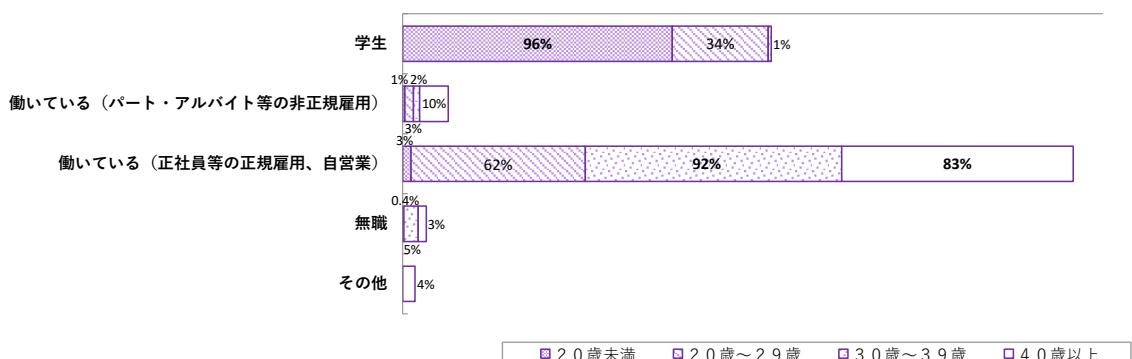
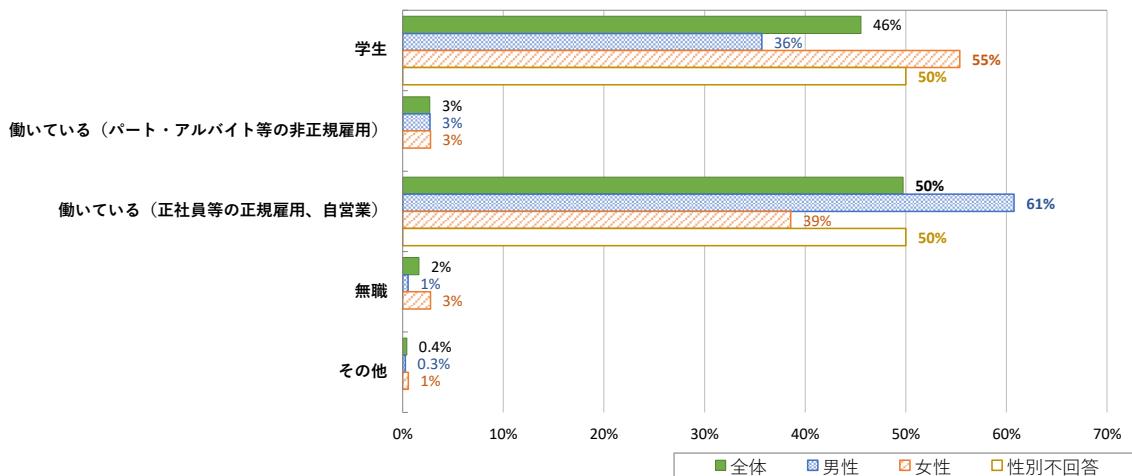
県南					
	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
仙北市	6	2	4	0	0
大仙市	65	31	19	11	4
横手市	28	14	6	6	2
湯沢市	12	3	7	1	1
美郷町	9	4	3	2	0
羽後町	1	0	1	0	0
東成瀬村	0	0	0	0	0
計	121	54	40	20	7



問4

あなたの現在の状況について教えてください。

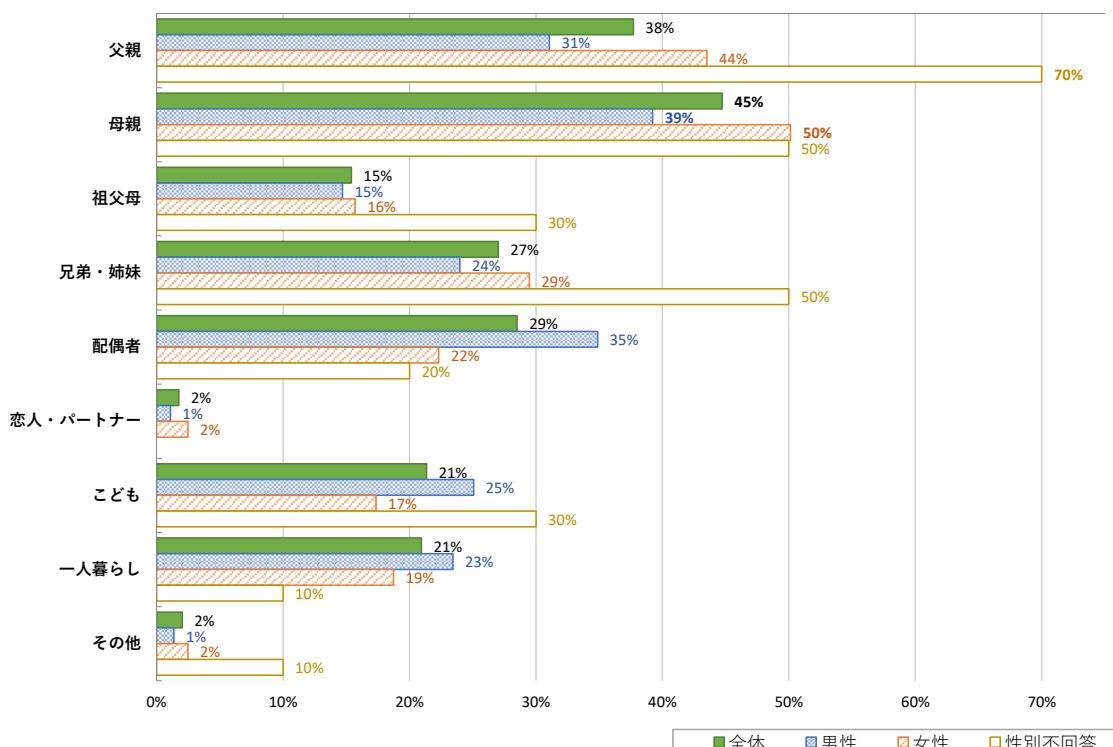
回 答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
学生	337	258	77	2	0
男性	131	94	36	1	0
女性	201	160	40	1	0
性別不回答	5	4	1	0	0
働いている（パート・アルバイト等の非正規雇用）	20	2	7	4	7
男性	10	0	4	2	4
女性	10	2	3	2	3
性別不回答	0	0	0	0	0
働いている（正社員等の正規雇用、自営業）	368	8	140	163	57
男性	223	5	84	90	44
女性	140	3	55	70	12
性別不回答	5	0	1	3	1
無職	12	0	1	9	2
男性	2	0	0	2	0
女性	10	0	1	7	2
性別不回答	0	0	0	0	0
その他	3	0	0	0	3
男性	1	0	0	0	1
女性	2	0	0	0	2
性別不回答	0	0	0	0	0
合計	740	268	225	178	69

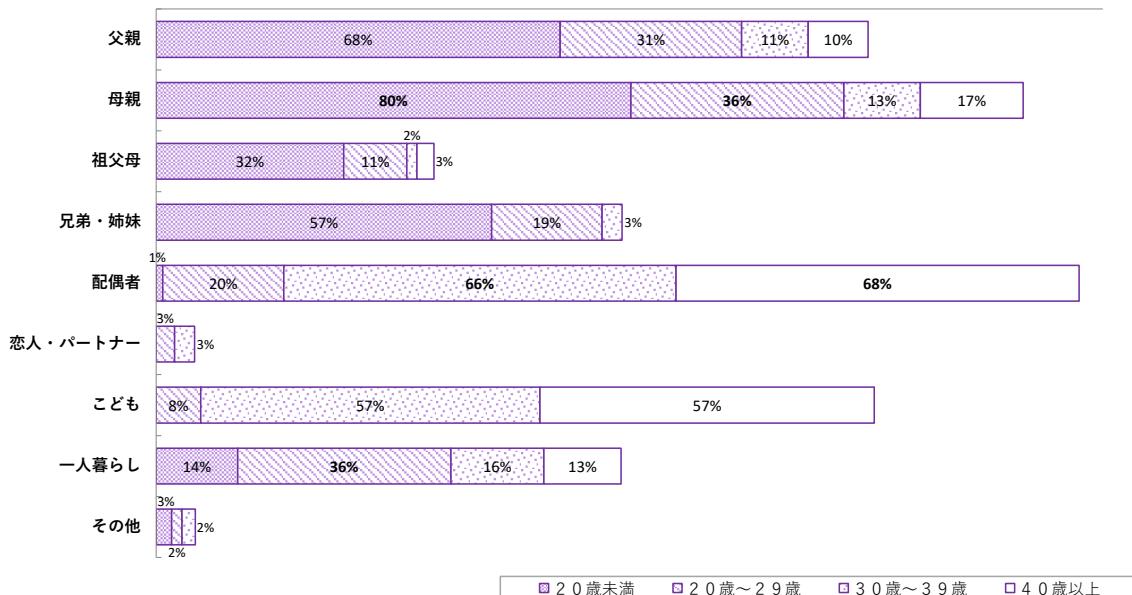


問5

あなたが現在一緒に暮らしている人を教えてください。

回答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
父親	279	183	69	20	7
	男性	114	62	38	9
	女性	158	117	30	1
	性別不回答	7	4	1	1
母親	331	215	81	23	12
	男性	144	82	46	10
	女性	182	131	34	12
	性別不回答	5	2	1	1
祖父母	114	85	24	3	2
	男性	54	40	11	1
	女性	57	42	13	2
	性別不回答	3	3	0	0
兄弟・姉妹	200	152	42	6	0
	男性	88	62	22	4
	女性	107	86	19	2
	性別不回答	5	4	1	0
配偶者	211	3	46	118	47
	男性	128	0	27	67
	女性	81	0	19	49
	性別不回答	2	0	0	2
恋人・パートナー	13	0	7	6	0
	男性	4	0	1	3
	女性	9	0	6	3
	性別不回答	0	0	0	0
こども	158	0	17	102	39
	男性	92	0	11	54
	女性	63	0	6	46
	性別不回答	3	0	0	2
一人暮らし	155	37	81	28	9
	男性	86	14	48	15
	女性	68	23	32	13
	性別不回答	1	0	1	0
その他	15	7	4	4	0
	男性	5	2	2	1
	女性	9	4	2	3
	性別不回答	1	1	0	0





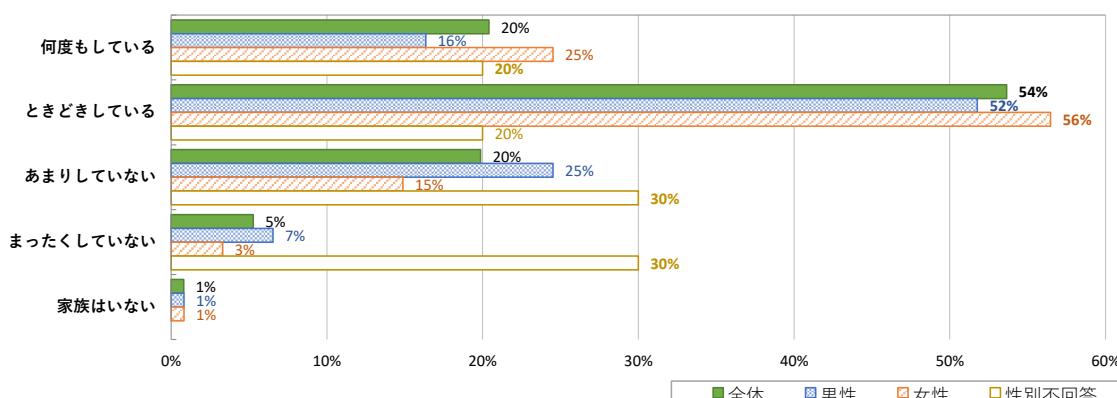
※「その他」の回答内容

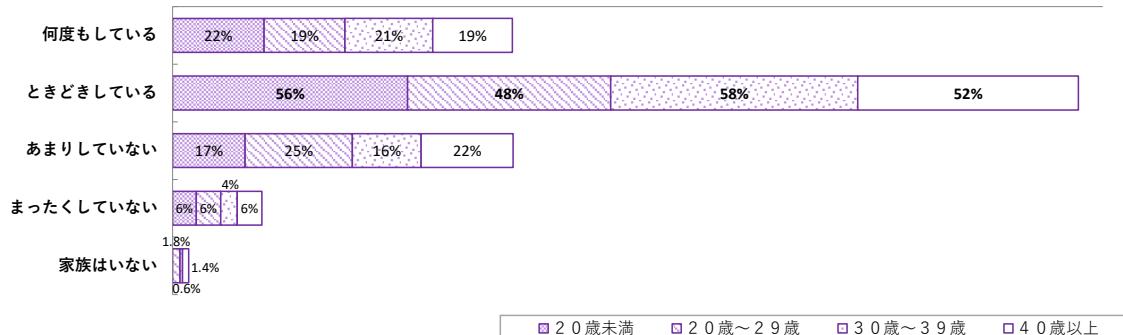
ペット、義兄、単身赴任、叔父・叔母、寮生、友人、知人、姑

◎20代以下は親族と同居している方が多いですが、
30代以上の方は、6割以上が配偶者と同居しており、その多くがこどもと同居しています。

問6 あなたは家族と人生や将来について話をしていますか。

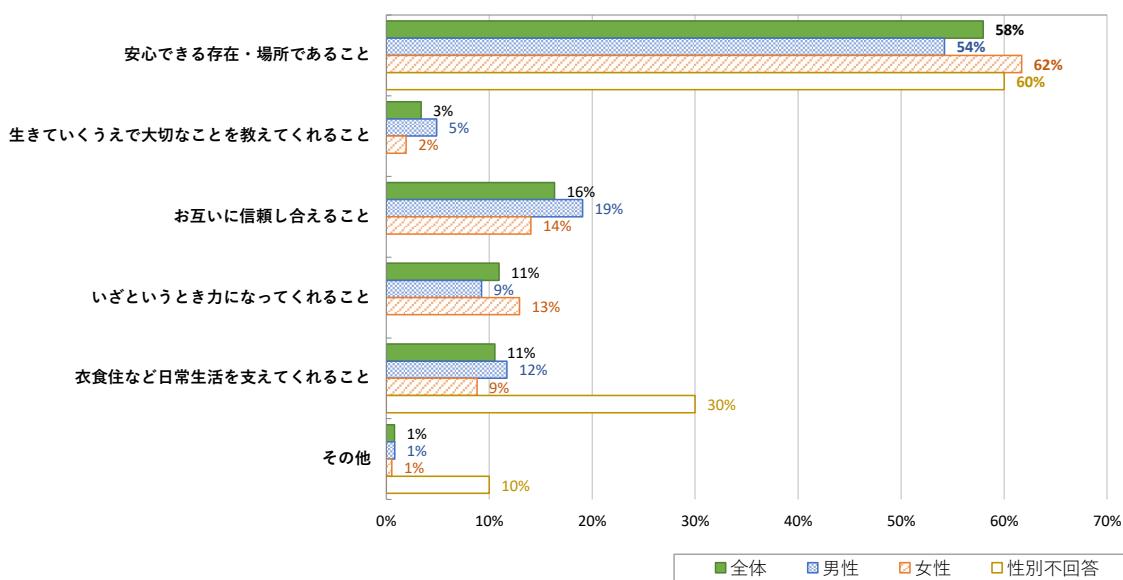
回答	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
何度もしている	151	58	43	37	13
男性	60	15	19	18	8
女性	89	43	24	18	4
性別不回答	2	0	0	1	1
ときどきしている	397	149	108	104	36
男性	190	53	58	55	24
女性	205	95	50	48	12
性別不回答	2	1	0	1	0
あまりしていない	147	46	57	29	15
男性	90	23	39	16	12
女性	54	22	17	12	3
性別不回答	3	1	1	1	0
まったくしていない	39	15	13	7	4
男性	24	8	7	5	4
女性	12	5	5	2	0
性別不回答	3	2	1	0	0
家族はない	6	0	4	1	1
男性	3	0	1	1	1
女性	3	0	3	0	0
性別不回答	0	0	0	0	0

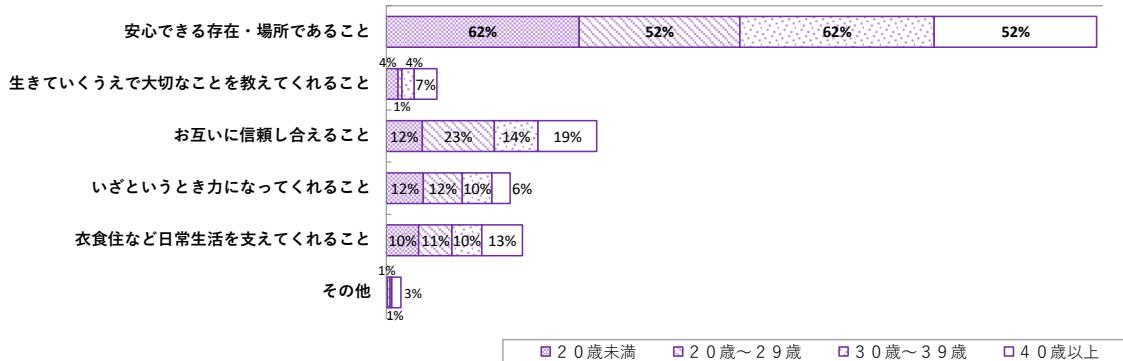




問7 あなたは家族・家庭には何が大切だと思いますか。

回答	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
安心できる存在・場所であること	429	166	116	111	36
男性	199	57	63	56	23
女性	224	106	53	53	12
性別不回答	6	3	0	2	1
生きていくうえで大切なことを教えてくれること	25	10	3	7	5
男性	18	5	2	6	5
女性	7	5	1	1	0
性別不回答	0	0	0	0	0
お互いに信頼し合えること	121	31	52	25	13
男性	70	15	31	13	11
女性	51	16	21	12	2
性別不回答	0	0	0	0	0
いざというとき力になってくれること	81	32	28	17	4
男性	34	10	11	10	3
女性	47	22	17	7	1
性別不回答	0	0	0	0	0
衣食住など日常生活を支えてくれること	78	28	24	17	9
男性	43	12	16	9	6
女性	32	16	6	7	3
性別不回答	3	0	2	1	0
その他	6	1	2	1	2
男性	3	0	1	1	1
女性	2	0	1	0	1
性別不回答	1	1	0	0	0





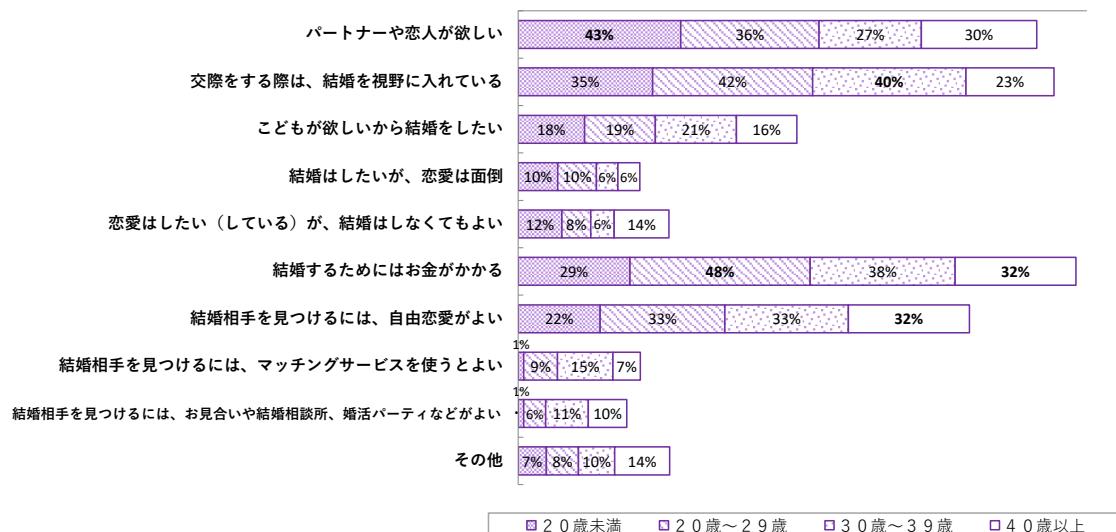
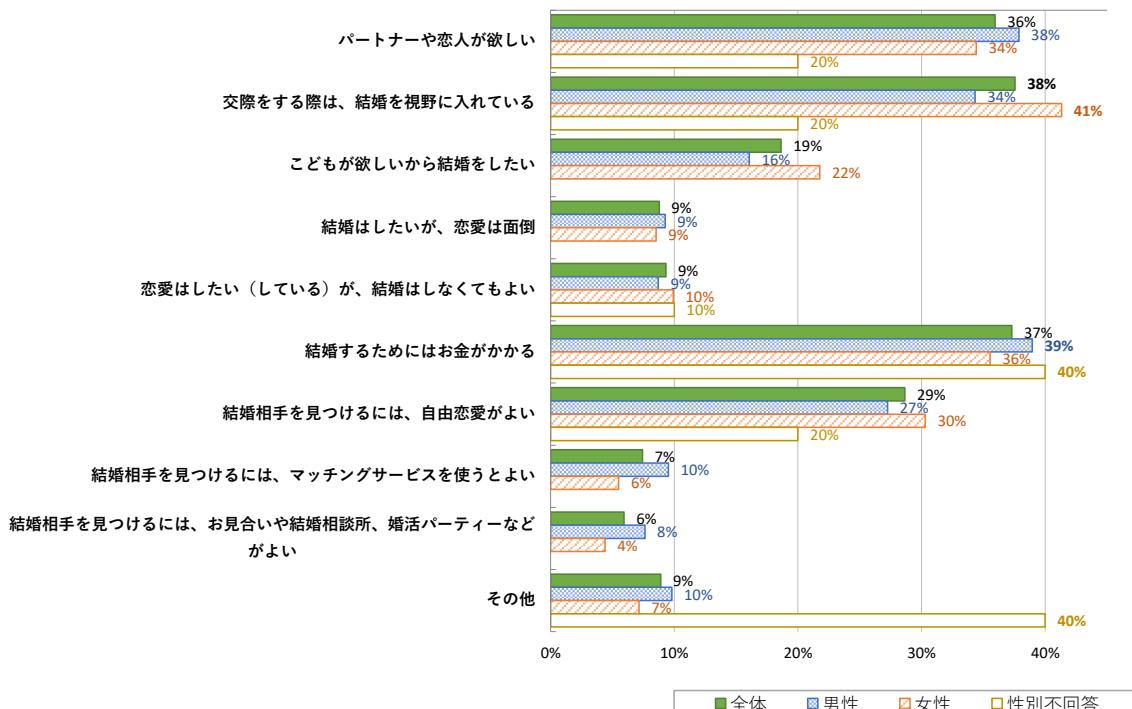
※「その他」の主な回答内容

何があっても帰れる場所。
互いを自分とは異なる個人だと捉え尊重すること。
お金が無いのでお金が必要です。
(生まれて初めて生活する人たちが家族と定義するなら) 今の世界の生き方を教えられる人。

問8

恋愛や結婚について、様々な見方や意見がありますが、あなたの考えを教えてください。

回答	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
パートナーや恋人が欲しい	266	115	82	48	21
男性	139	47	51	25	16
女性	125	68	30	22	5
性別不回答	2	0	1	1	0
交際をする際は、結婚を視野に入れている	278	95	95	72	16
男性	126	22	53	38	13
女性	150	72	42	33	3
性別不回答	2	1	0	1	0
こどもが欲しいから結婚をしたい	138	47	42	38	11
男性	59	11	23	17	8
女性	79	36	19	21	3
性別不回答	0	0	0	0	0
結婚はしたいが、恋愛は面倒	65	28	23	10	4
男性	34	10	14	6	4
女性	31	18	9	4	0
性別不回答	0	0	0	0	0
恋愛はしたい（している）が、結婚はしなくてもよい	69	31	17	11	10
男性	32	14	7	2	9
女性	36	17	10	9	0
性別不回答	1	0	0	0	1
結婚するためにはお金がかかる	276	79	107	68	22
男性	143	26	64	34	19
女性	129	51	43	32	3
性別不回答	4	2	0	2	0
結婚相手を見つけるには、自由恋愛がよい	212	58	74	58	22
男性	100	18	35	31	16
女性	110	40	38	26	6
性別不回答	2	0	1	1	0
結婚相手を見つけるには、マッチングサービスを使うとよい	55	4	20	26	5
男性	35	2	15	15	3
女性	20	2	5	11	2
性別不回答	0	0	0	0	0
結婚相手を見つけるには、お見合いや結婚相談所、婚活パーティーなどがよい	44	4	13	20	7
男性	28	3	9	12	4
女性	16	1	4	8	3
性別不回答	0	0	0	0	0
その他	66	20	19	17	10
男性	36	9	12	10	5
女性	26	8	7	6	5
性別不回答	4	3	0	1	0



※「その他」の主な回答内容

出会い	自然に出会えたら一番。
	結婚を検討してくれる相手がない。
	出会いは何でも良い。パートナーを見つけたい人は動けばいいし、1人が楽しい人は趣味に生きたらいい。
	自分は既婚だが、結婚相手を見つけるためなら自由恋愛、マッチングサービス、お見合い等手段はあまり気にすることはないと思う。
恋愛・結婚観	恋愛をしていてそのまま結婚したい。
	興味関心があまりない。
	恋愛も結婚もしなくてもどちらでも良い。
	恋愛も結婚もしたくない。
	仕事が忙しくて考える余地がない。
	私自身は結婚しているが、周りには結婚しなくても幸せそうな人もいる。
	そもそも結婚、恋愛の枠組みで物事を捉えて欲しくない。人間と生活の付き合い方の一つとしてお互いが幸せな距離感である事を望む。

※「その他」の主な回答内容（続き）

恋愛・結婚観	子供が欲しい場合は結婚をした方が書類などの面で都合がいいが、子供を望まない場合は事実婚やカップルのままでいいと思う。
	結婚や出会いに対して積極的では無い若者が増えているように思います。かといって結婚相談所は「恥ずかしい」となどと前向きでは無い方も多いと感じます。諦めずに周りが結婚相談所や婚活パーティーなどの機会を増やす事は引き続き必要かと思いますが、若者に「パートナー（結婚）を見つけること」素晴らしさを経済的面、精神面、幸福度など多方面から教育する必要もあるのではないかと思います。
子ども	子どもを育てられる自信が無い。
	子どもは欲しいけど恋人はいらない。
	結婚しても子育ての展望が見えず金銭的な不安が大きいため子どもの話をすることができない。
シングルマザー	シングルマザーです。今は子供の事で精一杯です。

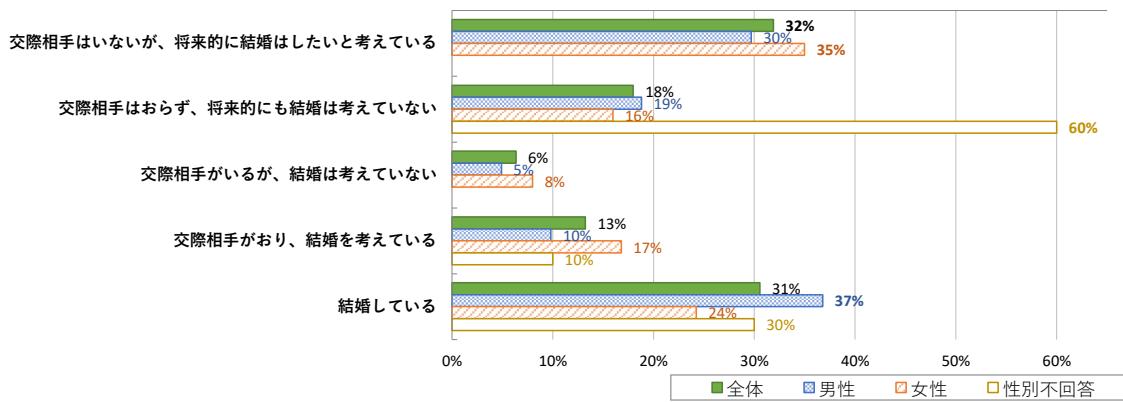
◎年齢層・性別を問わず、「交際時は結婚を視野に入れている」「結婚にはお金がかかる」が多くなっています。

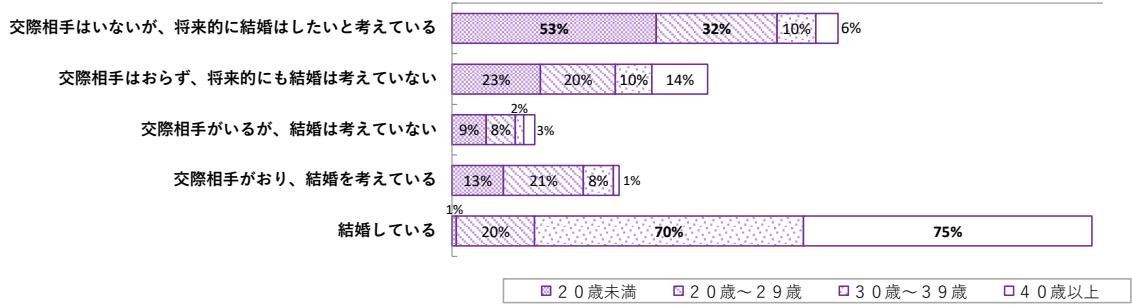
◎年齢層が上がるにつれて、「結婚相手を見つけるには自由恋愛が良い」が上昇しています。

◎「恋愛も結婚もしたくない（する気がない）、興味がない」といった意見は、特に20歳未満の方で多くなっています。

問9 あなたの現在の交際状況について教えてください。

回答	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
交際相手はいないが、将来的に結婚はしたいと考えている	236	143	71	18	4
男性	109	54	38	13	4
女性	127	89	33	5	0
性別不回答	0	0	0	0	0
交際相手はおらず、将来的にも結婚は考えていない	133	62	44	17	10
男性	69	32	27	5	5
女性	58	27	15	11	5
性別不回答	6	3	2	1	0
交際相手がいるが、結婚は考えていない	47	24	17	4	2
男性	18	7	9	0	2
女性	29	17	8	4	0
性別不回答	0	0	0	0	0
交際相手があり、結婚を考えている	98	36	47	14	1
男性	36	5	24	7	0
女性	61	30	23	7	1
性別不回答	1	1	0	0	0
結婚している	226	3	46	125	52
男性	135	1	26	70	38
女性	88	2	20	53	13
性別不回答	3	0	0	2	1





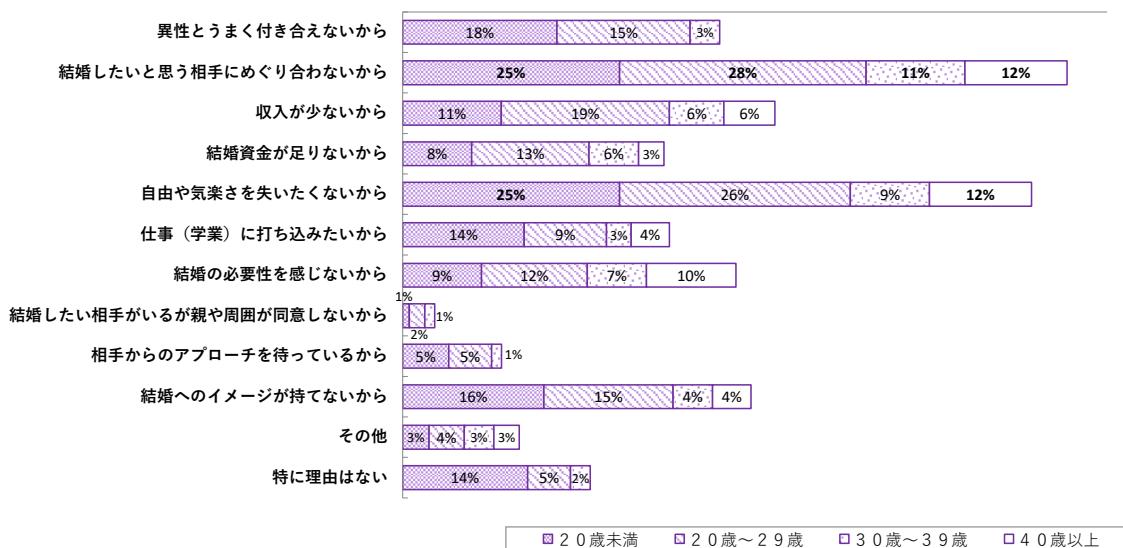
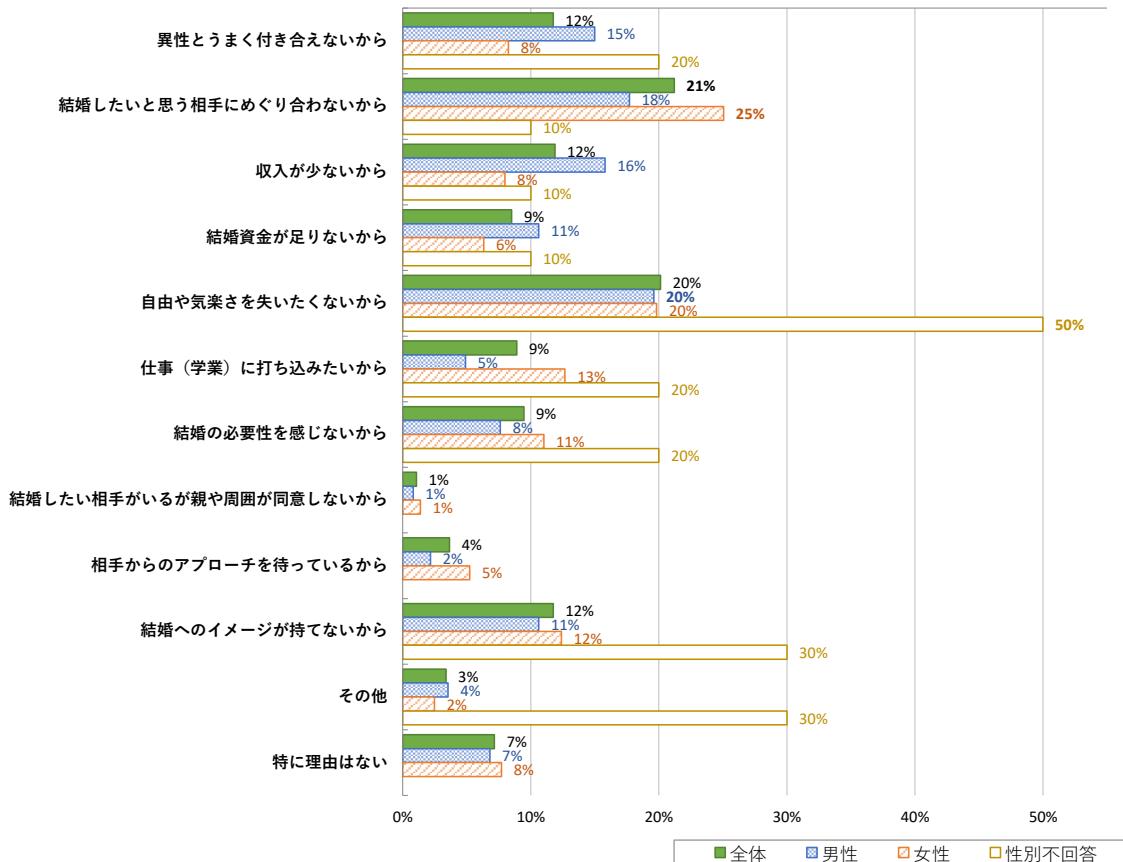
◎結婚したいと考えている方の割合が最も多いのは29歳以下で、30代以上では回答者の7割以上が結婚しています。

◎将来的に結婚は考えていない方の割合も29歳以下に多く、年齢層が上がるにつれて減少しています。

問9-2 現在結婚をしていない、考えていない方は、その理由を教えてください。

回答	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
異性とうまく付き合えないから	87	47	34	6	0
男性	55	24	28	3	0
女性	30	21	6	3	0
性別不回答	2	2	0	0	0
結婚したいと思う相手にめぐり合わないから	157	66	63	20	8
男性	65	19	32	9	5
女性	91	47	30	11	3
性別不回答	1	0	1	0	0
収入が少ないから	88	30	43	11	4
男性	58	16	33	6	3
女性	29	13	10	5	1
性別不回答	1	1	0	0	0
結婚資金が足りないから	63	21	30	10	2
男性	39	8	25	5	1
女性	23	12	5	5	1
性別不回答	1	1	0	0	0
自由や気楽さを失いたくないから	149	66	59	16	8
男性	72	29	32	6	5
女性	72	35	25	9	3
性別不回答	5	2	2	1	0
仕事（学業）に打ち込みたいから	66	37	21	5	3
男性	18	8	8	1	1
女性	46	29	12	3	2
性別不回答	2	0	1	1	0
結婚の必要性を感じないから	70	24	27	12	7
男性	28	10	11	3	4
女性	40	13	16	8	3
性別不回答	2	1	0	1	0
結婚したい相手がいるが親や周囲が同意しないから	8	2	4	2	0
男性	3	0	3	0	0
女性	5	2	1	2	0
性別不回答	0	0	0	0	0
相手からのアプローチを待っているから	27	14	11	2	0
男性	8	4	4	0	0
女性	19	10	7	2	0
性別不回答	0	0	0	0	0
結婚へのイメージが持てないから	87	43	33	8	3
男性	39	19	16	3	1
女性	45	22	16	5	2
性別不回答	3	2	1	0	0

回 答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
その他	25	8	9	6	2
男性	13	3	7	2	1
女性	9	3	2	3	1
性別不回答	3	2	0	1	0
特に理由はない	53	38	11	4	0
男性	25	14	7	4	0
女性	28	24	4	0	0
性別不回答	0	0	0	0	0



※「その他」の主な回答内容

- まだ早いと思ってしまっているから。
- 機会があればするものととらえているから。
- 結婚を検討してくれる相手がない。
- 家族以外と長く付き合っていける自信が無い。

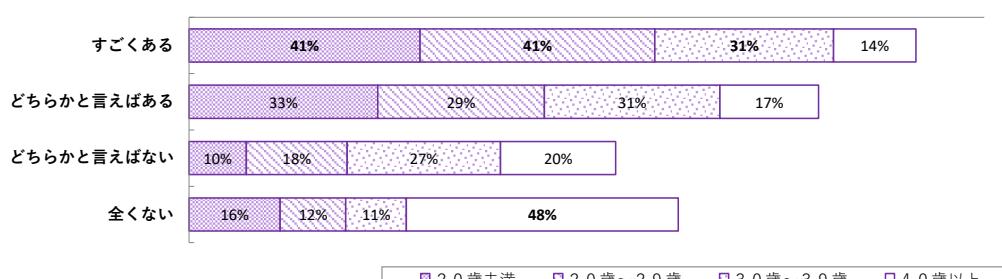
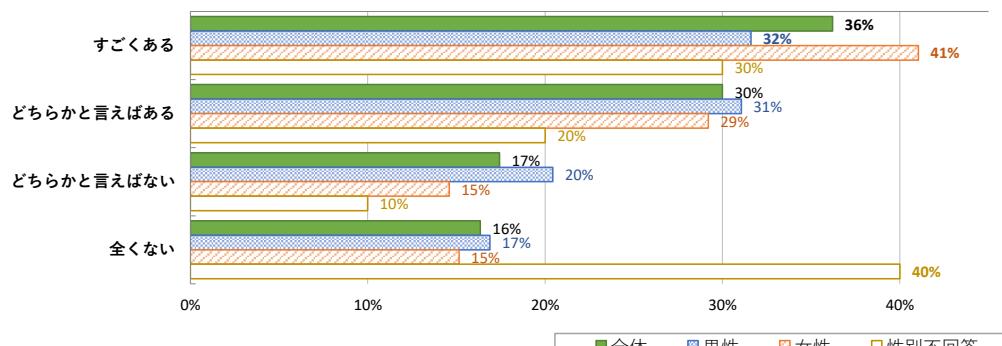
※「その他」の主な回答内容（続き）

県外にいるため就職先などを考えると難しい。
仕事（キャリア）との兼ね合い。
全てにおいて金がかかる。安月給だから。
趣味に没頭したいから。
身近な人からの話で結婚や恋愛に良いイメージを持っていない。また、異性が苦手だから。
周囲で、結婚して幸福になっている実例が全く無く、時間と金の無駄であるから。
新たな家族（今後結婚する相手など）よりも、今の家族（両親や祖父母）を大切にしたいと思っているから。
バツイチ子持ちでそれどころではないし、もう結婚相手はいらない。
今そのままシングルマザーで、子育てしたいです。

- ◎結婚をしていない人の多くが、「相手にめぐり会わない」「自由や気楽さを失いたくない」と考えています。
- ◎「異性とうまく付き合えないから」との回答者は、20代以下の男性が特に多くなっています。
- ◎「仕事（学業）に打ち込みたいから」との回答者は、20代以下の女性が特に多くなっています。

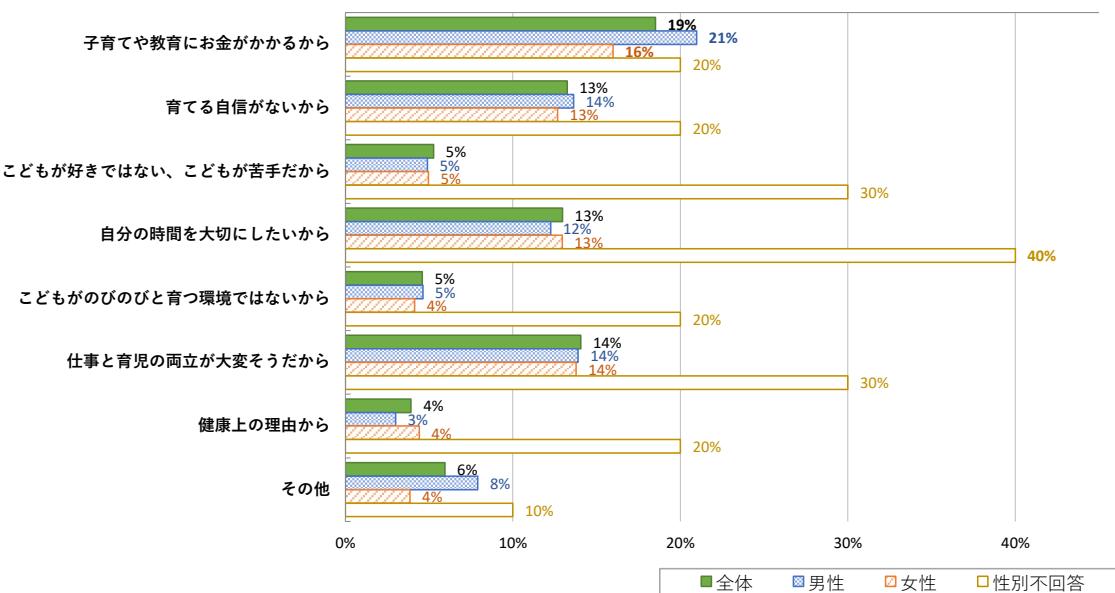
問10 あなたは「将来こどもがほしい」または「もう一人こどもがほしい」という気持ちはありますか。

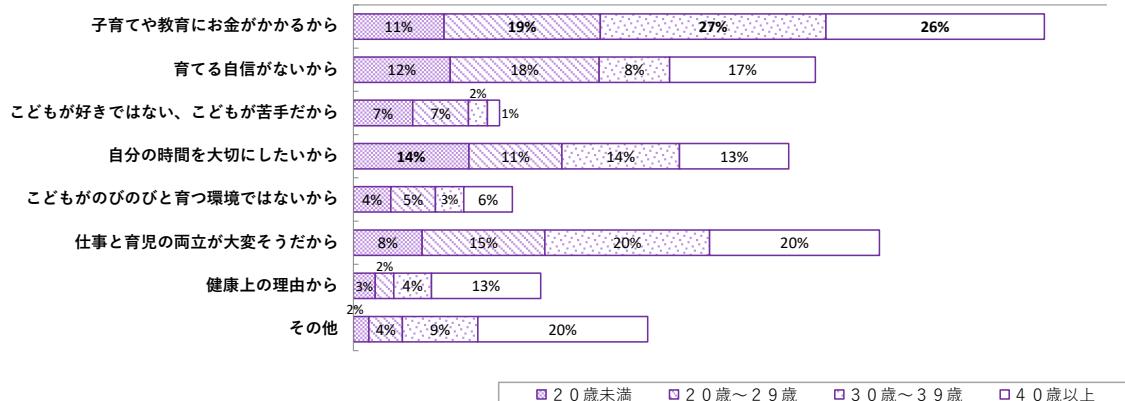
回 答	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
すごくある	268	109	93	56	10
男性	116	30	45	34	7
女性	149	78	48	21	2
性別不回答	3	1	0	1	1
どちらかと言えばある	222	89	66	55	12
男性	114	36	40	28	10
女性	106	53	24	27	2
性別不回答	2	0	2	0	0
どちらかと言えばない	129	27	40	48	14
男性	75	13	26	27	9
女性	53	14	14	20	5
性別不回答	1	0	0	1	0
全くない	121	43	26	19	33
男性	62	20	13	6	23
女性	55	20	13	12	10
性別不回答	4	3	0	1	0



問10-2 前問で「どちらかと言えばない」「全くない」を選んだ方は、その理由を教えてください。

回 答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
子育てや教育にお金がかかるから	137	29	42	48	18
男性	77	15	27	22	13
女性	58	13	15	25	5
性別不回答	2	1	0	1	0
育てる自信がないから	98	31	40	15	12
男性	50	16	21	5	8
女性	46	13	19	10	4
性別不回答	2	2	0	0	0
こどもが好きではない、こどもが苦手だから	39	19	15	4	1
男性	18	8	8	2	0
女性	18	8	7	2	1
性別不回答	3	3	0	0	0
自分の時間を大切にしたいから	96	37	25	25	9
男性	45	15	15	9	6
女性	47	19	10	15	3
性別不回答	4	3	0	1	0
こどもがのびのびと育つ環境ではないから	34	12	12	6	4
男性	17	5	6	3	3
女性	15	5	6	3	1
性別不回答	2	2	0	0	0
仕事と育児の両立が大変そうだから	104	22	33	35	14
男性	51	9	20	13	9
女性	50	11	13	21	5
性別不回答	3	2	0	1	0
健康上の理由から	29	7	5	8	9
男性	11	2	3	2	4
女性	16	3	2	6	5
性別不回答	2	2	0	0	0
その他	44	5	9	16	14
男性	29	3	6	11	9
女性	14	2	3	4	5
性別不回答	1	0	0	1	0





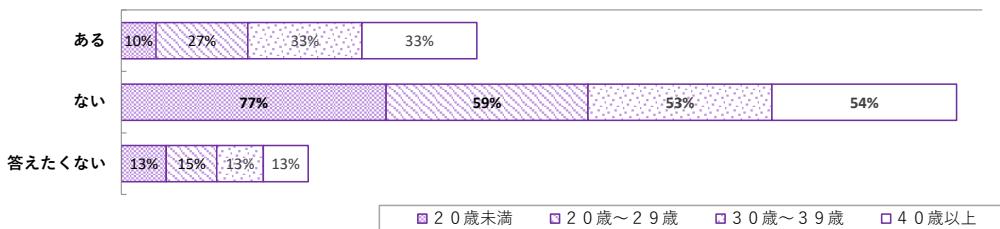
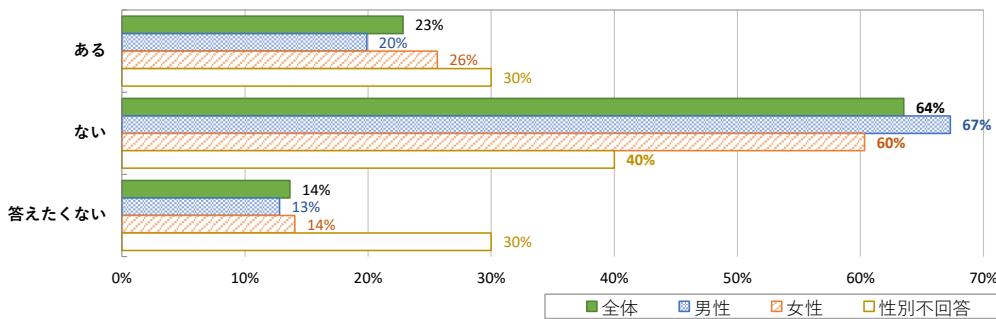
※「その他」の主な内容

まだ考てる歳じゃないから。
子どもを育てている自分を想像できないから。
パートナーとの考え方の相違。
気持ちはあるが、周囲の協力なしでは育てられず、また世代間の価値観が違うことから、その周囲に協力を求めたいとも思えないから。
一人目の時の妊活が大変だった。
一人目が遅かったから。
すでに望んだ人数の子供がいるから。
現在子供が二人いるが、子育てにはかなり手がかかる（体力的・心理的負担）と感じており、もう一人は考えられない。
現在の収入が精一杯で、これ以上の経済負担では家計が破綻するため。

- ◎子どもが「すごくほしい」「どちらかといえばほしい」との回答が全体の6割を超えてます。
- ◎子どもがほしいという気持ちが「どちらかと言えばない」「全くない」と回答した方では、年齢層が上がるにつれて、「子育てや教育にお金がかかる」「仕事と育児の両立が大変そう」との回答が多くなっています。
- ◎「育てる自信がない」との回答者は29歳以下の方に多いですが、40歳以上でも増えています。

問11 あなたは普段生活をする中で「男性らしさ」「女性らしさ」を求められて、または「男性だから…」「女性だから…」などと言われて、不快感や息苦しさを感じたことはありますか。

回 答	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
ある	169	27	60	59	23
男性	73	11	23	23	16
女性	93	15	37	35	6
性別不回答	3	1	0	1	1
ない	470	206	132	95	37
男性	247	79	80	60	28
女性	219	126	50	34	9
性別不回答	4	1	2	1	0
答えたくない	101	35	33	24	9
男性	47	9	21	12	5
女性	51	24	12	11	4
性別不回答	3	2	0	1	0
ある・答えたくないの割合	36%	23%	41%	47%	46%



※「ある」と回答した人の主な回答内容

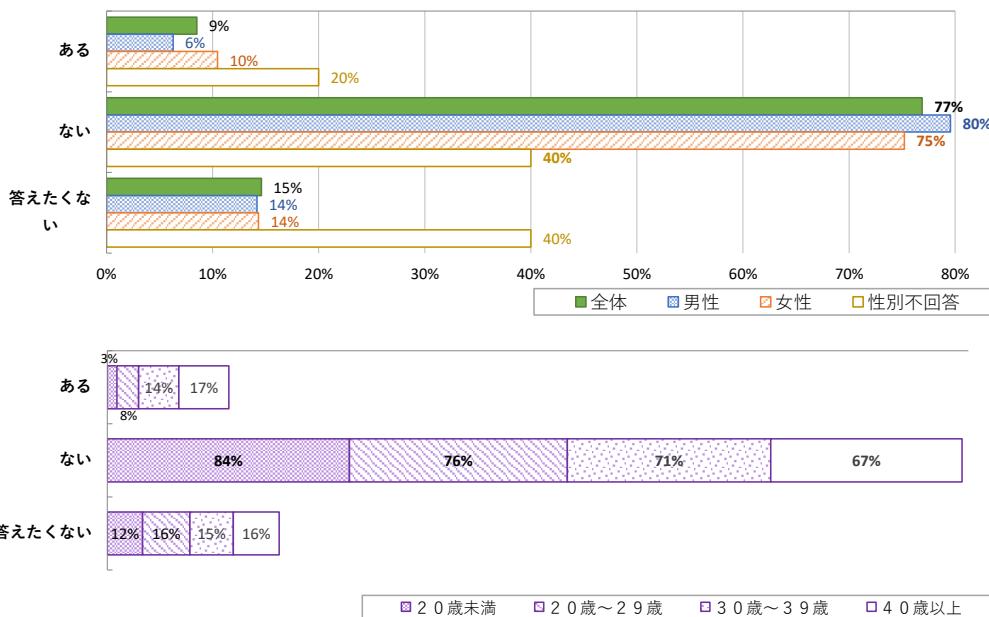
生理妊娠出産育児全てで差を感じるし、決して埋められない。
職場・自治会活動・伝統芸能でも男性（女性）だから〇〇をやれ、という雰囲気は子どもの頃からずっとある。身体的な格差に依らない物事に関してはもっと寛容であるべきだと感じてきた。
夫の前職で、子どものことで休みを取ると上司に「奥さんは？」と言われていた。育児は主に母親が担うものと捉えられている。
育休を3か月取得した時に、「男でもそんなにとるのか」と言われた時。
女性が意見主張をすると、年長男性から疎まれること。
育児・子供の看護・行事への参加のための休暇の取得を女性側が負担することが多いのと同時に、男性と同じように働く・活躍するように進んでいる社会に息苦しさを感じる時がある。
男女平等を推進する結果、女性が優遇される世の中になったと思う。
女性だからと持ち上げられることが多くなった。責任を押しつけられているようにしか感じない。性別によって能力差や得手不得手があるのは当たり前なのだから、女性の活躍という見栄えを良くするためにだけに、ムリに女性を前面に出すような社内の雰囲気や職場環境を感じると能力を見られていないようで不快。
それぞれの得手不得手があるため、一つのことを基準に男女平等と一概に表現することに疑問を感じる。
音姫とか音を消すやつが男性トイレにない。
同性を好きな事を明かすと少し距離ができた。
性的指向と生物学的性別を混同されること。某相談所で「心が男性の人を入れて間違いがあったら困るから」と言った表現をし一時保護を懸念されていたときには嫌悪感を抱きました。
一生忘れないと思います。

◎性別の違いによる格差や不平等感を感じた方の割合は、年齢層が上がるにつれて高くなっています。

◎「ある」「答えたたくない」と回答した方の比率は、女性及び性別不回答の方が多くなっています。

問12 あなたは周りの人から差別を受けた、不当な扱いをされたと感じたことはありますか。

回 答	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
ある	63	9	17	25	12
	男性	23	1	7	8
	女性	38	7	10	4
	性別不回答	2	1	0	1
ない	569	226	171	126	46
	男性	292	87	96	74
	女性	273	138	73	51
	性別不回答	4	1	2	0
答えたくない	108	33	37	27	11
	男性	52	11	21	13
	女性	52	20	16	12
	性別不回答	4	2	0	2
ある・答えたくないの割合	23%	16%	24%	29%	33%



※「ある」と回答した人の主な回答内容

義務教育時代にいじめを受けていた。
セクハラ、モラハラ、パワハラ。
運動部出身じゃないから縦社会のマナーがなっていないと言われた。
特に年長の男性に感じますが、男女によって対応や言葉遣い、態度が異なること。
学生の頃、男性よりも怒られないなど感じていた。女性側はそこまで気にならないと思うが男性側が嫌だと思う。
夫が子どもの面倒を見ない。自分の両親が「母親だから当たり前」と何もかもやって当然と言う。やむを得ず残業をしているのに、職場の人に「子どもがかわいそう」と言われる。
結婚するのが当たり前だと思っている人、昔からの考え方を捨てきれずにいる人からの扱い。
障害者雇用で働いていた時、仕事を与えられず一日中デスクに座っているだけの生活が2年半続いた。
県外出身であるが、事あるたびに「あの人は秋田の人じゃないから」と言われる。うんざりしている。
年齢差別（若い子優先）

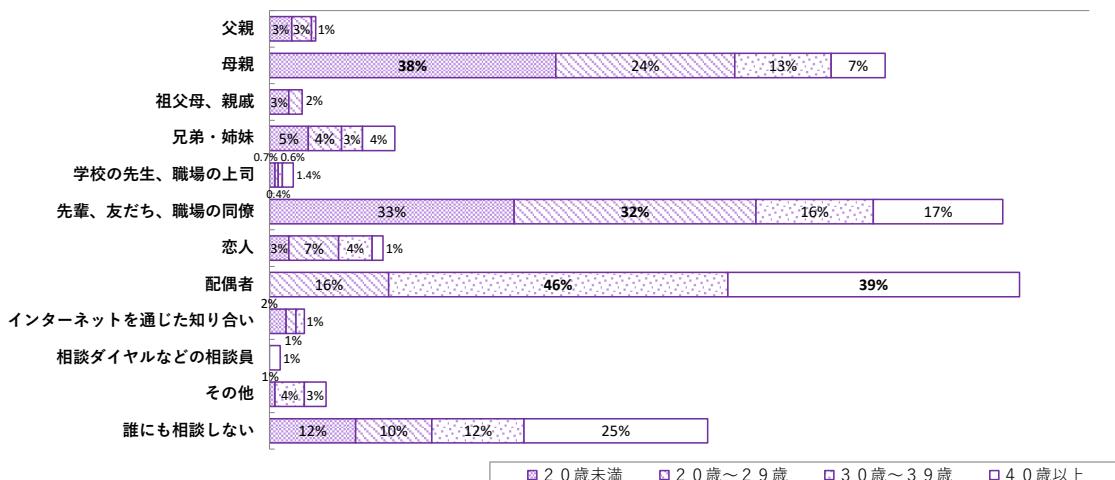
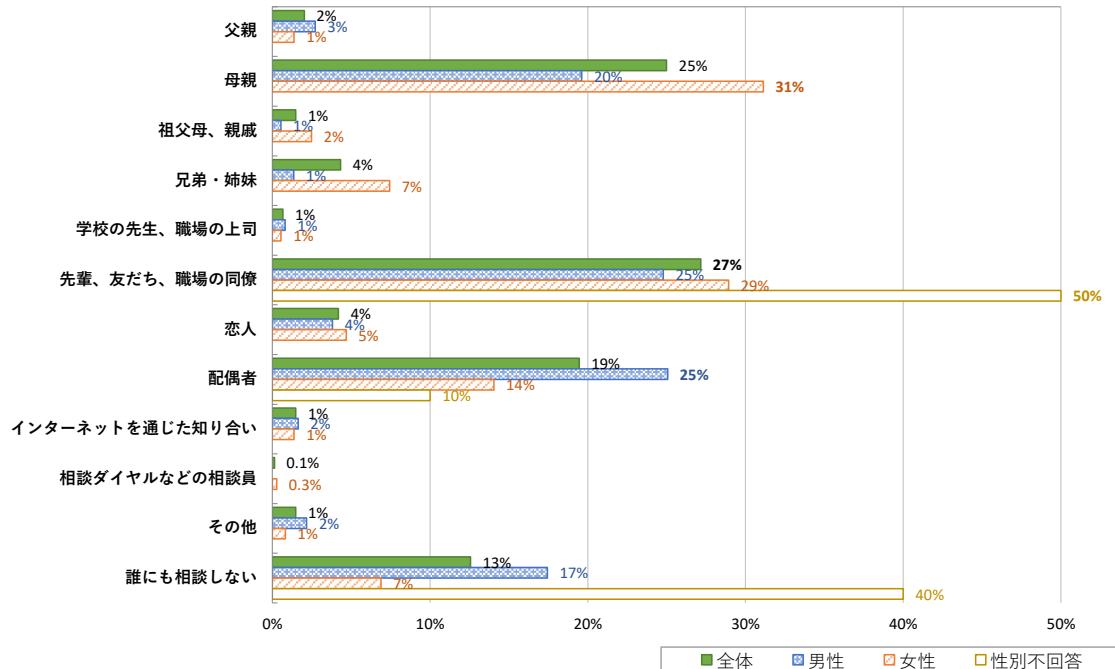
◎差別・不当な扱いを受けたと感じた方の割合は、年齢層が上がるにつれて高くなっています。

◎「ある」「答えたくない」と回答した方の比率は、女性及び性別不回答の方が多くなっています。

問13

あなたは悩みごとがあるとき、誰に相談しますか。

回 答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
父親	15	8	6	1	0
	男性	10	5	4	1
	女性	5	3	2	0
	性別不回答	0	0	0	0
母親	185	103	54	23	5
	男性	72	33	28	3
	女性	113	70	26	15
	性別不回答	0	0	0	0
祖父母、親戚	11	7	4	0	0
	男性	2	2	0	0
	女性	9	5	4	0
	性別不回答	0	0	0	0
兄弟・姉妹	32	14	10	5	3
	男性	5	3	1	0
	女性	27	11	9	5
	性別不回答	0	0	0	0
学校の先生、職場の上司	5	2	1	1	1
	男性	3	0	1	1
	女性	2	2	0	0
	性別不回答	0	0	0	0
先輩、友だち、職場の同僚	201	88	73	28	12
	男性	91	31	41	12
	女性	105	54	30	16
	性別不回答	5	3	2	0
恋人	31	7	15	8	1
	男性	14	2	8	0
	女性	17	5	7	1
	性別不回答	0	0	0	0
配偶者	144	0	36	81	27
	男性	92	0	22	49
	女性	51	0	14	31
	性別不回答	1	0	0	1
インターネットを通じた知り合い	11	6	3	2	0
	男性	6	3	2	0
	女性	5	3	1	0
	性別不回答	0	0	0	0
相談ダイヤルなどの相談員	1	0	0	0	1
	男性	0	0	0	0
	女性	1	0	0	1
	性別不回答	0	0	0	0
その他	11	2	0	7	2
	男性	8	1	0	5
	女性	3	1	0	2
	性別不回答	0	0	0	0
誰にも相談しない	93	31	23	22	17
	男性	64	19	17	14
	女性	25	11	6	2
	性別不回答	4	1	0	1



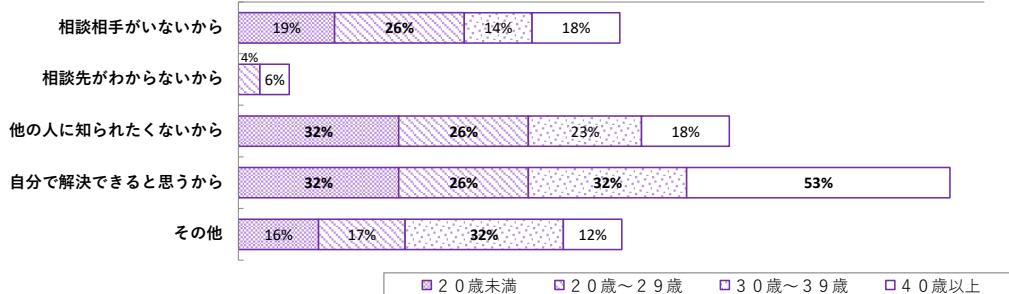
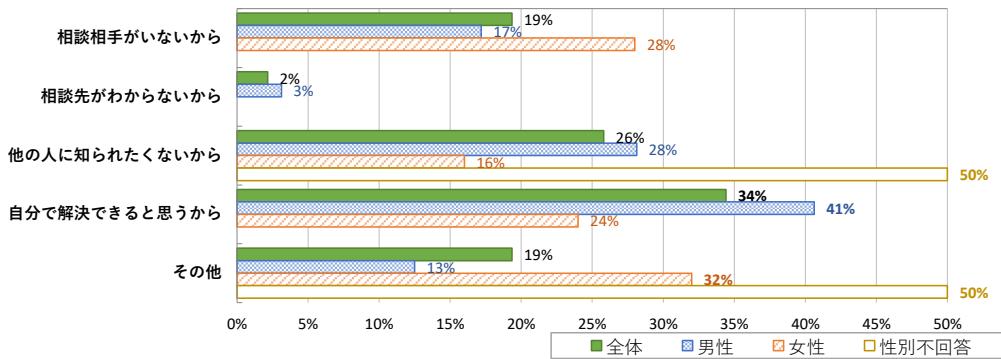
※「その他」の主な回答内容

カウンセラー
悩みの種類による。悩み事が解決出来るスキルや能力のある人に相談する。
インターネットで検索して、似たような経験をした人の事例や、専門家による一般的なアドバイスなどを参考にする。

- ◎男女とも、「先輩、友だち、職場の同僚に相談する」と回答した方が多くなっています。
- ◎男女とも、「母親に相談する」と回答した方は多いですが、「父親に相談する」と回答した方は非常に少なくなっています。
- ◎男性は「配偶者に相談する」と回答した方が多いですが、女性は少なく、母親が最多となっています。
- ◎「誰にも相談しない」と回答した方は男性が多くなっています。

問13-2 前問で「誰にも相談しない」を選んだ方はお答えください。それはなぜですか。

回答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
相談相手がいないから	18	6	6	3	3
男性	11	2	3	3	3
女性	7	4	3	0	0
性別不回答	0	0	0	0	0
相談先がわからないから	2	0	1	0	1
男性	2	0	1	0	1
女性	0	0	0	0	0
性別不回答	0	0	0	0	0
他の人に知られたくないから	24	10	6	5	3
男性	18	7	5	3	3
女性	4	2	1	1	0
性別不回答	2	1	0	1	0
自分で解決できると思うから	32	10	6	7	9
男性	26	8	5	6	7
女性	6	2	1	1	2
性別不回答	0	0	0	0	0
その他	18	5	4	7	2
男性	8	2	3	2	1
女性	8	3	1	4	0
性別不回答	2	0	0	1	1



※「その他」の主な回答内容

理解されないし、されたいとも思わないから。結局解決は自分でしなくちゃいけないから。

相談の仕方がわからないから。

相談しても無駄だから。

他人を信用していないから。

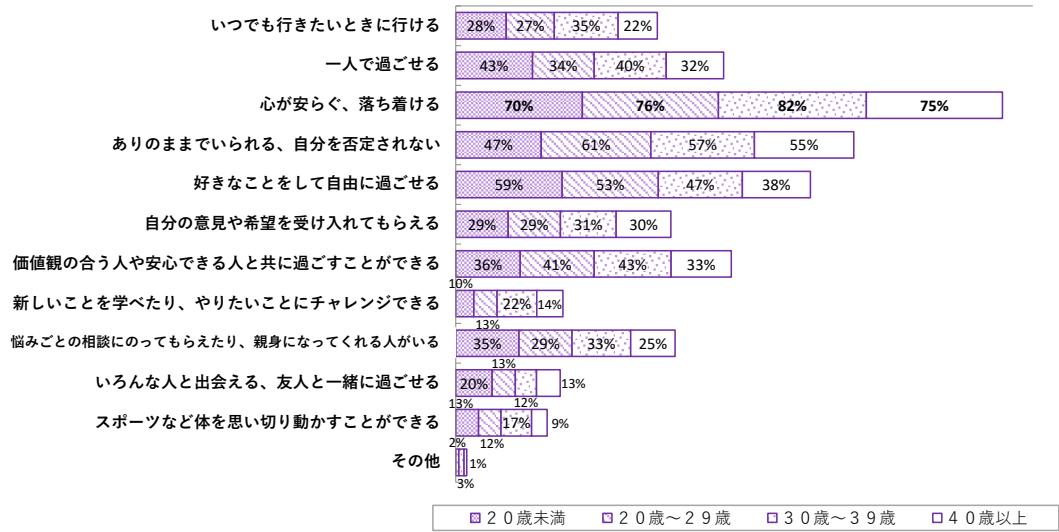
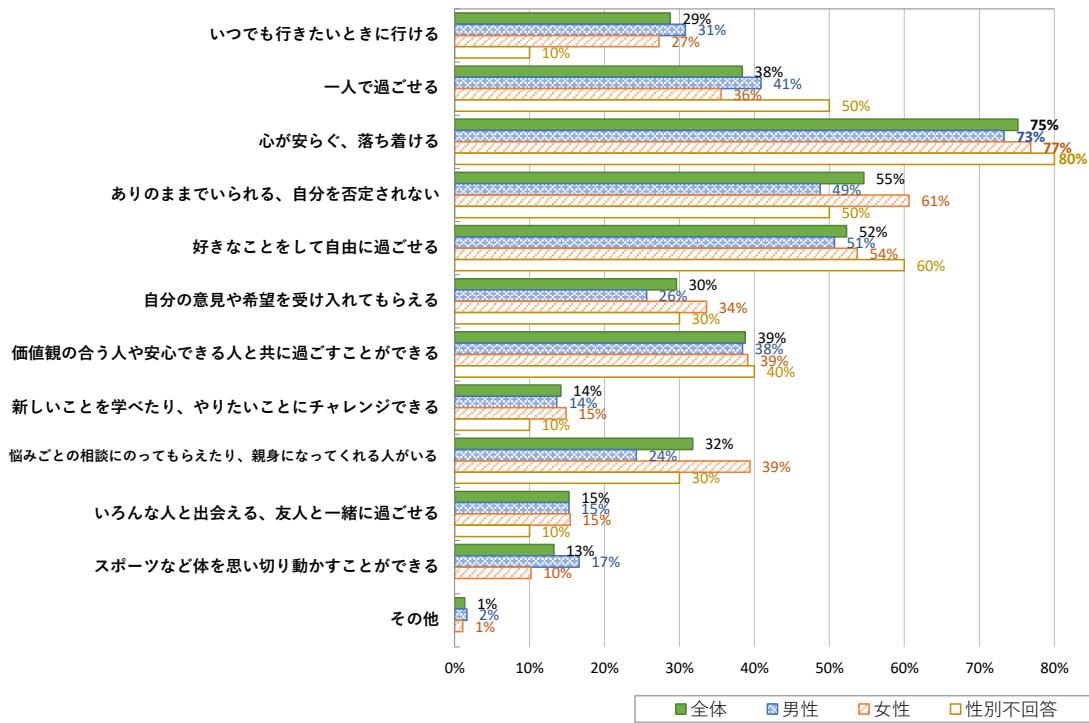
◎誰にも相談しない理由として、「自分で解決できると思うから」「他の人に知られたくないから」と回答した方が、年齢層・性別を問わず多くなっています。

◎「相談相手がいないから」と回答した方は、29歳以下に多くなっています。

問14

あなたにとって、安心して過ごせる居場所とは、どのような場所ですか。

回 答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
いつでも行きたいときに行ける	213	75	60	63	15
男性	113	29	36	34	14
女性	99	46	24	28	1
性別不回答	1	0	0	1	0
一人で過ごせる	284	114	77	71	22
男性	150	49	50	35	16
女性	129	63	27	33	6
性別不回答	5	2	0	3	0
心が安らぐ、落ち着ける	556	188	170	146	52
男性	269	67	90	74	38
女性	279	117	78	70	14
性別不回答	8	4	2	2	0
ありのままでいられる、自分を否定されない	404	127	137	102	38
男性	179	34	73	46	26
女性	220	90	64	54	12
性別不回答	5	3	0	2	0
好きなことをして自由に過ごせる	387	158	120	83	26
男性	186	58	68	38	22
女性	195	97	51	43	4
性別不回答	6	3	1	2	0
自分の意見や希望を受け入れてもらえる	219	78	65	55	21
男性	94	17	33	27	17
女性	122	59	31	28	4
性別不回答	3	2	1	0	0
価値観の合う人や安心できる人と共に過ごすことができる	287	96	92	76	23
男性	141	31	55	37	18
女性	142	62	37	39	4
性別不回答	4	3	0	0	1
新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	105	27	29	39	10
男性	50	7	15	19	9
女性	54	20	14	19	1
性別不回答	1	0	0	1	0
悩みごとの相談にのってもらったり、親身になってくれる人がいる	235	94	66	58	17
男性	89	23	28	26	12
女性	143	69	38	31	5
性別不回答	3	2	0	1	0
いろんな人と会える、友人と一緒に過ごせる	113	54	29	21	9
男性	56	22	16	11	7
女性	56	31	13	10	2
性別不回答	1	1	0	0	0
スポーツなど体を思い切り動かすことができる	98	34	28	30	6
男性	61	15	21	19	6
女性	37	19	7	11	0
性別不回答	0	0	0	0	0
その他	10	0	4	5	1
男性	6	0	2	3	1
女性	4	0	2	2	0
性別不回答	0	0	0	0	0



※「その他」の主な回答内容

親でも子供でも祖父母でも叔母さんでも、家族がいる場所。

誰も自分のことを気にしない場所。

生活に困らないくらいの収入が得られる場所。

妻と一緒にいられる場所。

休息をとることができる場所。

よくわかりません。

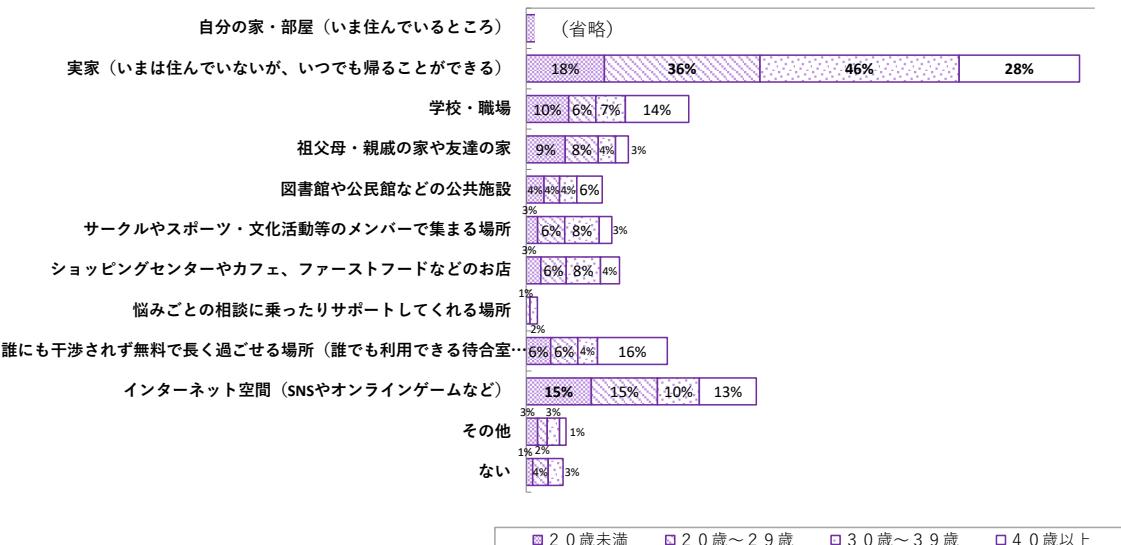
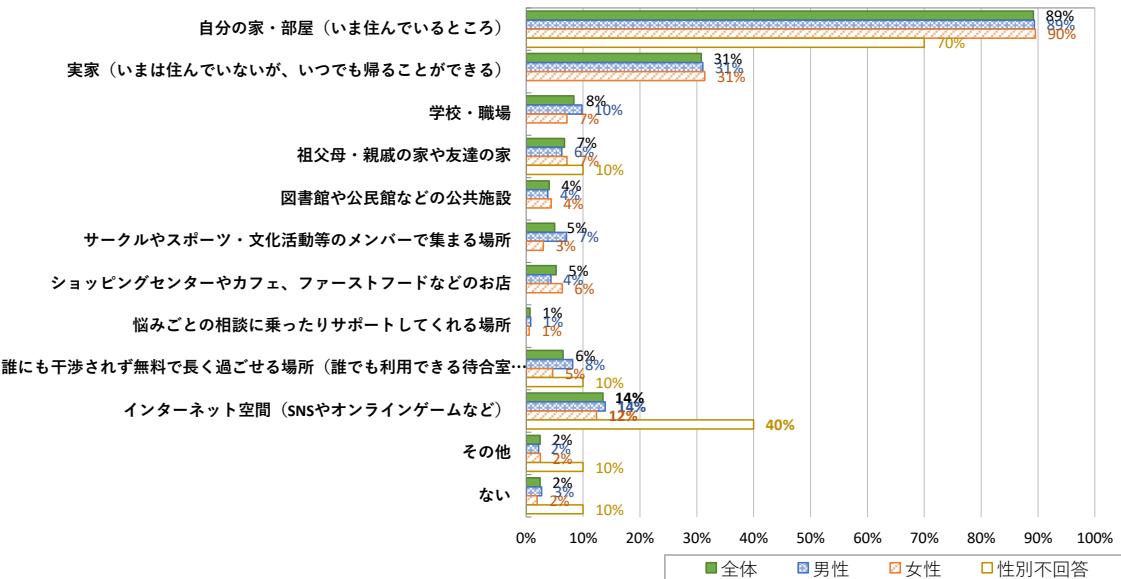
◎年齢層・性別を問わず、「心が安らぐ、落ち着ける」が最多となっており、次いで「ありのままでいられる、自分を否定されない」、「好きなことをして自由に過ごせる」が多くなっています。

◎男性は「一人で過ごせる」、女性は「悩みごとの相談にのってもらえたり、親身になってくれる人がいる」も多くなっています。

問15

あなたがいま、安心して過ごせる居場所はどこですか。

回 答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
自分の家・部屋（いま住んでいるところ）	660	240	198	159	63
男性	328	90	108	84	46
女性	325	148	88	73	16
性別不回答	7	2	2	2	1
実家（いまは住んでいないが、いつでも帰ることができる）	228	48	80	81	19
男性	114	13	45	41	15
女性	114	35	35	40	4
性別不回答	0	0	0	0	0
学校・職場	62	26	14	12	10
男性	36	11	8	7	10
女性	26	15	6	5	0
性別不回答	0	0	0	0	0
祖父母・親戚の家や友達の家	50	24	17	7	2
男性	23	9	9	3	2
女性	26	14	8	4	0
性別不回答	1	1	0	0	0
図書館や公民館などの公共施設	30	11	8	7	4
男性	14	5	4	3	2
女性	16	6	4	4	2
性別不回答	0	0	0	0	0
サークルやスポーツ・文化活動等のメンバーで集まる場所	37	7	14	14	2
男性	26	4	12	9	1
女性	11	3	2	5	1
性別不回答	0	0	0	0	0
ショッピングセンターやカフェ、ファーストフードなどのお店	39	9	13	14	3
男性	16	4	6	4	2
女性	23	5	7	10	1
性別不回答	0	0	0	0	0
悩みごとの相談に乗ったりサポートしてくれる場所	5	0	2	3	0
男性	3	0	1	2	0
女性	2	0	1	1	0
性別不回答	0	0	0	0	0
誰にも干渉されず無料で長く過ごせる場所（誰でも利用できる待合室や休憩所等）	48	15	14	8	11
男性	30	6	10	7	7
女性	17	9	4	1	3
性別不回答	1	0	0	0	1
インターネット空間（SNSやオンラインゲームなど）	100	40	34	17	9
男性	51	17	18	8	8
女性	45	20	15	9	1
性別不回答	4	3	1	0	0
その他	18	7	5	5	1
男性	8	1	3	3	1
女性	9	6	1	2	0
性別不回答	1	0	1	0	0
ない	18	4	8	6	0
男性	10	1	7	2	0
女性	7	3	1	3	0
性別不回答	1	0	0	1	0



※「その他」の主な回答内容

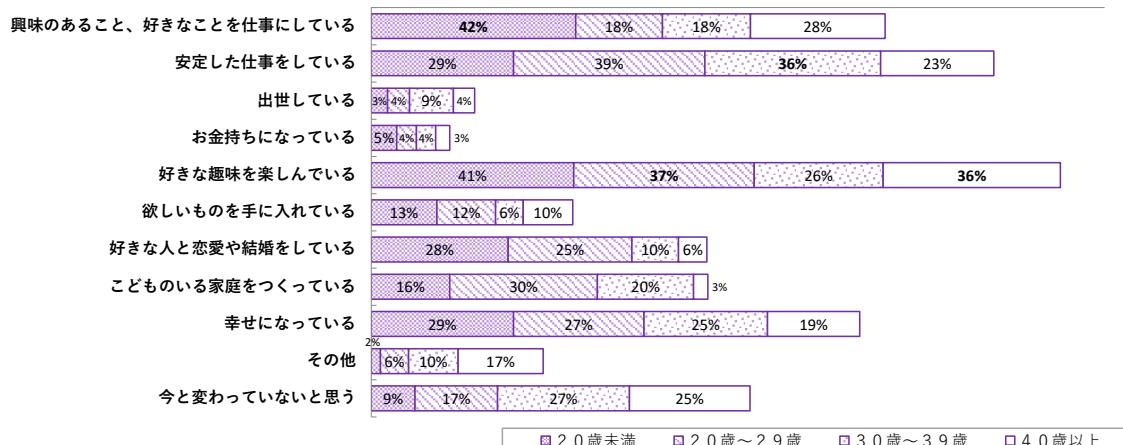
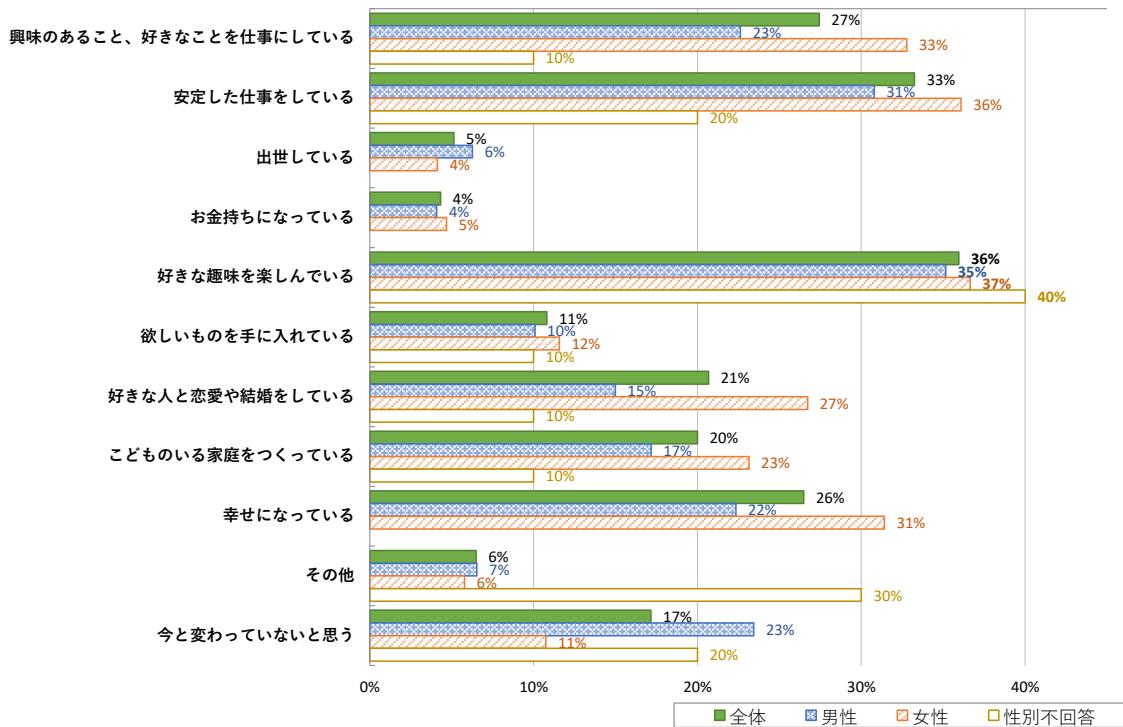
大自然の中
車の中
バイト先
トイレ
有料でも、作業が軽くできて、ドリンクバーがあるような場所
屋外（ウォーキング・スポーツ）、温泉・サウナ

- ◎「自分の家・部屋」及び「実家」を除くと、性別を問わず「インターネット空間」が最多となっています。
- ◎安心して過ごせる居場所が「自分の家・部屋」又は「実家」のみと回答した方は60%ほどでした。
- ◎安心して過ごせる居場所に「自分の家・部屋」が含まれていない方が10%ほどありました。
- ◎「安心して過ごせる居場所が一つもない」と回答した方が2%ほどありました。

問16

あなたは10年後、自分がどうなっていると思いますか。

回 答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
興味のあること、好きなことを仕事にしている	203	112	40	32	19
男性	83	32	19	19	13
女性	119	79	21	13	6
性別不回答	1	1	0	0	0
安定した仕事をしている	246	78	88	64	16
男性	113	27	46	29	11
女性	131	50	42	34	5
性別不回答	2	1	0	1	0
出世している	38	9	10	16	3
男性	23	3	6	11	3
女性	15	6	4	5	0
性別不回答	0	0	0	0	0
お金持ちになっている	32	14	9	7	2
男性	15	5	5	3	2
女性	17	9	4	4	0
性別不回答	0	0	0	0	0
好きな趣味を楽しんでいる	266	111	83	47	25
男性	129	44	41	26	18
女性	133	64	41	21	7
性別不回答	4	3	1	0	0
欲しいものを手に入れている	80	36	27	10	7
男性	37	14	12	5	6
女性	42	22	14	5	1
性別不回答	1	0	1	0	0
好きな人と恋愛や結婚をしている	153	75	57	17	4
男性	55	14	29	9	3
女性	97	60	28	8	1
性別不回答	1	1	0	0	0
こどものいる家庭をつくっている	148	43	68	35	2
男性	63	4	37	20	2
女性	84	38	31	15	0
性別不回答	1	1	0	0	0
幸せになっている	196	78	60	45	13
男性	82	18	33	24	7
女性	114	60	27	21	6
性別不回答	0	0	0	0	0
その他	48	5	13	18	12
男性	24	2	9	6	7
女性	21	2	4	11	4
性別不回答	3	1	0	1	1
今と変わっていないと思う	127	24	38	48	17
男性	86	15	25	30	16
女性	39	9	12	17	1
性別不回答	2	0	1	1	0



※「その他」の主な回答内容

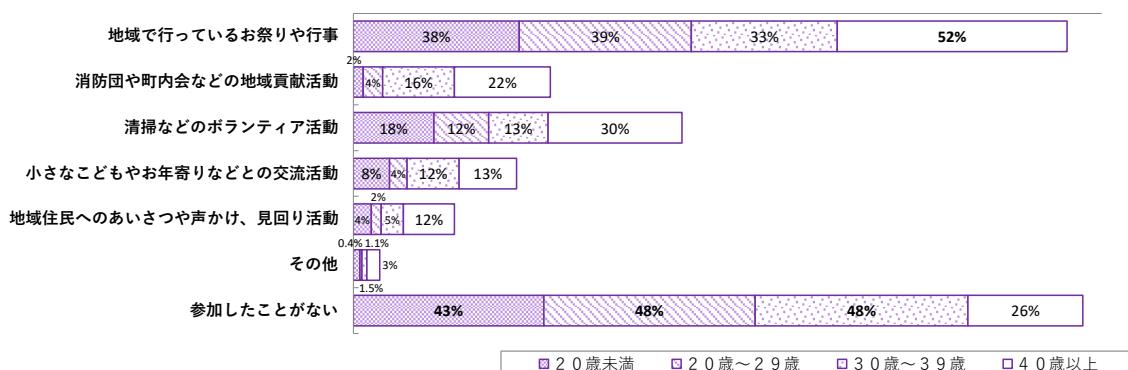
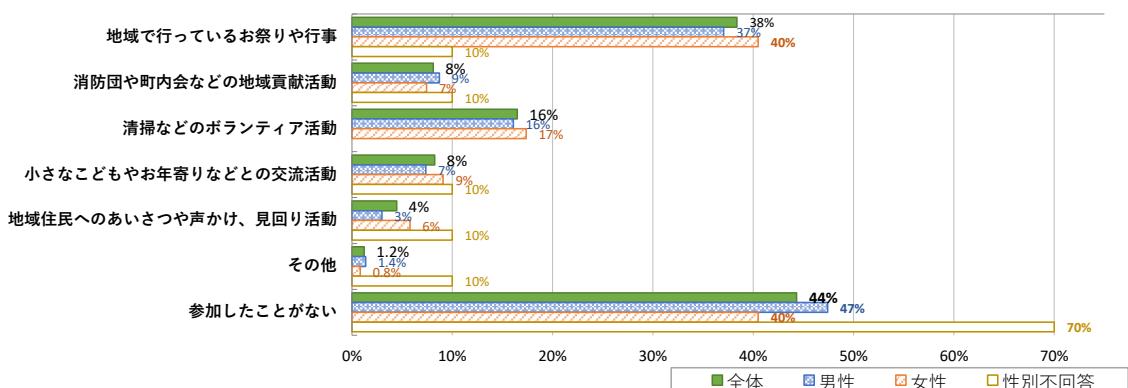
事業で成功している。
子育てに奮闘していると思う。
変化した社会の中で最適な生き方を選択している。
人生に疲れていると思う。
親の介護が必要になっている。
税金、社会保険料が高すぎて生活がカツカツだと思う。
職がなく家でひきこもっている。
今住んでいる集落が存在しているかどうかが不安。ぽつんと一軒家みたになつてると寂しい。
不健康ではないかと不安だ。
死んでいる。
10年後の社会や自分が想像つかない。

- ◎年齢層・性別を問わず、「安定した仕事をしている」「好きな趣味を楽しんでいる」が上位となっています。
- ◎「興味のあること、好きなことを仕事にしている」は、20歳以下に多く、20～30代では減少するものの、40歳以上で再び増加しています。
- ◎「幸せになっている」と回答した方は、全ての年齢層で2～3割を占めていますが、年齢層が上がるにつれてやや減少しています。

問17

あなたは最近1年間で、次のような地域の活動に参加したことがありますか。

回答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
地域で行っているお祭りや行事	284	101	88	59	36
男性	136	37	43	28	28
女性	147	63	45	31	8
性別不回答	1	1	0	0	0
消防団や町内会などの地域貢献活動	60	6	10	29	15
男性	32	1	4	17	10
女性	27	5	6	11	5
性別不回答	1	0	0	1	0
清掃などのボランティア活動	122	49	28	24	21
男性	59	14	13	15	17
女性	63	35	15	9	4
性別不回答	0	0	0	0	0
小さなこどもやお年寄りなどとの交流活動	61	22	9	21	9
男性	27	2	5	13	7
女性	33	20	4	7	2
性別不回答	1	0	0	1	0
地域住民へのあいさつや声かけ、見回り活動	33	11	5	9	8
男性	11	2	1	3	5
女性	21	9	4	5	3
性別不回答	1	0	0	1	0
その他	9	4	1	2	2
男性	5	2	1	1	1
女性	3	2	0	0	1
性別不回答	1	0	0	1	0
参加したことがない	328	116	108	86	18
男性	174	50	65	47	12
女性	147	63	41	38	5
性別不回答	7	3	2	1	1

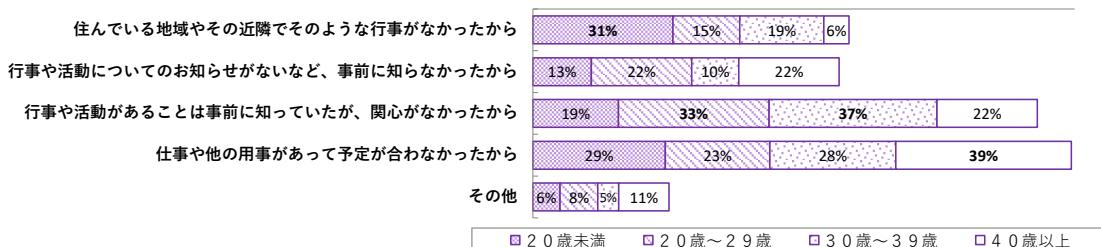
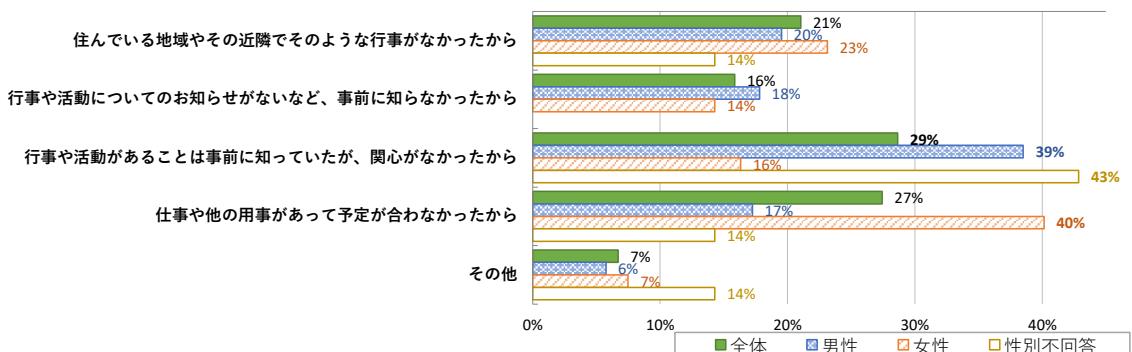


※「その他」の主な回答内容

挨拶などを積極的に行ったり、中学の時は委員会活動で地域のゴミ拾いに行ったりしました。
大会のボランティア
町内会主催の勉強会
依存症団体へのミーティング見学

問17-2 前問で「参加したことがない」を選んだ方はお答えください。それはなぜですか。

回答	総数	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳以上
住んでいる地域やその近隣でそのような行事がなかったから	69	36	16	16	1
男性	34	13	9	12	0
女性	34	23	6	4	1
性別不回答	1	0	1	0	0
行事や活動についてのお知らせがないなど、事前に知らなかったから	52	15	24	9	4
男性	31	6	16	5	4
女性	21	9	8	4	0
性別不回答	0	0	0	0	0
行事や活動があることは事前に知っていたが、関心がなかったから	94	22	36	32	4
男性	67	15	30	20	2
女性	24	4	6	12	2
性別不回答	3	3	0	0	0
仕事や他の用事があって予定が合わなかったから	90	34	25	24	7
男性	30	9	7	9	5
女性	59	25	17	15	2
性別不回答	1	0	1	0	0
その他	22	7	9	4	2
男性	10	4	4	1	1
女性	11	3	5	3	0
性別不回答	1	0	0	0	1



※「その他」の主な回答内容

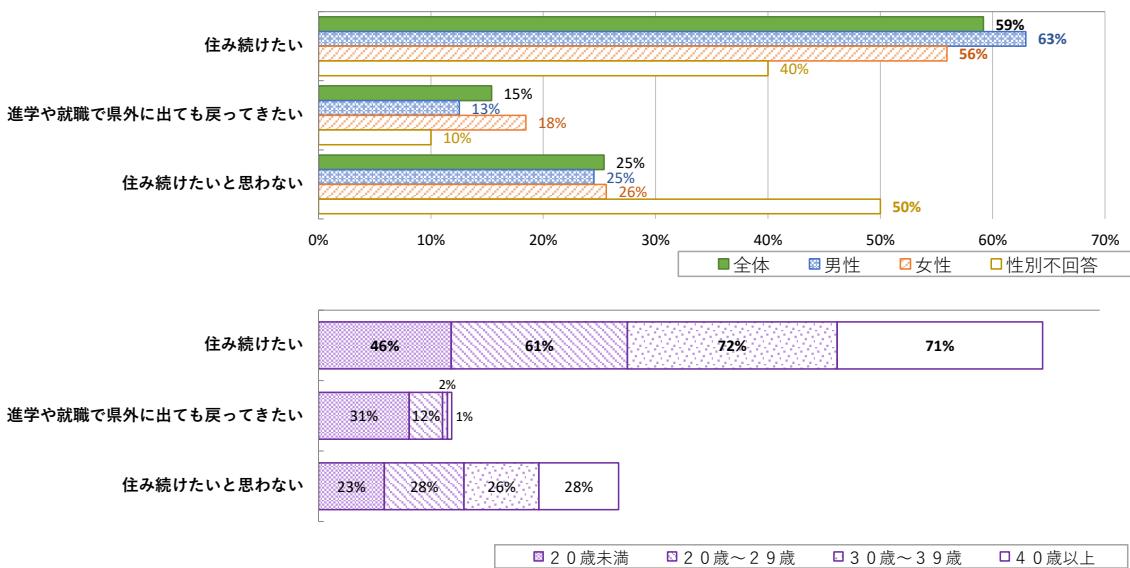
子供がいなくてお祭りも集会所も無くなった。維持できなくて。
高校3年生にはそんなお誘いもインターンシップも来ず、そもそも学業以外に目を通すことすら難しい状況だったため。
労働で疲れてそれどころではない。
平日仕事をしていると、土日まで余暇活動で誰かに貢献したいと思えるほどの余裕がない。
地域・町内の人達が煩わしい。

◎全ての性別・年齢層で「地域の活動に参加したことがない」と回答した方が3割を超えています。

◎「地域の活動に参加したことがない」方では、20歳~39歳では「関心がなかったから」が最多となっています。

問18 あなたはこれからも秋田に住み続けたいと思いますか。

回 答	総数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上
住み続けたい	438	123	137	129	49
男性	231	44	80	72	35
女性	203	77	56	56	14
性別不回答	4	2	1	1	0
進学や就職で県外に出ても戻ってきたい	114	84	26	3	1
男性	46	31	12	2	1
女性	67	53	13	1	0
性別不回答	1	0	1	0	0
住み続けたいと思わない	188	61	62	46	19
男性	90	24	32	21	13
女性	93	35	30	23	5
性別不回答	5	2	0	2	1



◎男女とも、「秋田に住み続けたい」と回答した方が6割程度、「住み続けたいと思わない」が3割弱となっています。

◎「進学や就職で県外に出ても戻ってきたい」と回答した方は、20歳未満が多くなっています。

◎「住み続けたいと思わない」と回答した方の比率は、性別・年齢層を問わず、ほぼ一定となっています

問19 あなたが子どもの頃に困ったことや壁にぶつかった時に、「こんな支援やサービス、環境があつたら良かったな」というものがあれば教えてください。

<主な回答>

教育環境	小中学生のコミュニティ（部活やクラスなど）に担任や顧問以外の大人がいること。人間関係が密室化しやすいため、教師ほど年の離れていない大学生や若手教員等が加配されていれば、陰湿ないじめや複雑な人間関係に対応しやすいと思う。 習い事などしたいことがあっても、金銭的にやらせて貰えなかった。子どものしたいことを自由にさせてあげる環境や金銭的支援が必要だと思う。
	都内の大学に進学したが、同級生が小さいときから受けてきた教育環境の差に愕然とした。予備校が全てではないが、秋田で受けられる教育は都心との差が大きいと感じた。（秋田にも存在していて知らないだけなのかもしれないが）
	部活でのスバルタや、理不尽な校則など、今考えても理解できないものが多かったと感じるため、何事も大人が子供に対して合理的に説明できるような社会（子供が理不尽さを感じることのない環境）で生活でき、また、大人から褒めてもらうなど、のびのびと生活できる環境があったらよかった。
	人間関係の構築についての教育を受けたかった。
相談支援	いじめを学校を介さず、直接相談できる外部の機関と手段 家族に相談するのは思い詰めた割と最終段階だったので、家族に相談したかどうか分からない形で相談できるサービスがあったら良かった。あったのかもしれないが、子ども世代には周知されてなかったかと思う。 悩み事を気軽に投書でき、過剰に対応されず、でも実際にこちらの要望に応じた対応を検討・実施してくれる相談所
	ヤングケアラーで、家事や妹の世話をしなければならなかった。親がそれを当たり前と思っていたので、親への意識醸成や相談先の周知、低廉な家事代行サービスなどの支援があれば良かったと思う。
	学生の頃、自殺したいと思ったことがあったので県の相談窓口に電話したことがある。出てくれたのは声からおじいちゃんだったが、「そんなことで悩むのか？」と強く言われたことがあった。自分は真剣に悩んでいるのに惨めな気持ちになった。環境や支援、サービスを増やすこともいいがもっと質の良いサービスをできるようにしてもらいたい。
	家庭内暴力を気付かせてくれるものが欲しかった。助けて欲しかった。
居場所	学校や習い事とは異なるコミュニティ（当時の自分は他県に住む会ったこともないメル友の存在が息抜きになっていました） 放課後に勉強できるスペースがもっとあればいいと思う
	発達障害グレーゾーンだったが、普通学級でだいぶ浮いてたのでそういった子が行きやすい安心した場所があればより社会性を持てたのかなと。
	学校に行けなくなっても居場所があると思える場所が欲しかった
	いじめにあってたので、学校の理解のもと、休みに過ごせる居場所があるとよい。
交流	親以外の大人で、自分を否定しない人。安心して遊べる場で、家の人が必ずここにいるとわかる場所。
	様々な価値観を知る機会が得られるような、地元以外の人とふれあえる環境 地域交流がしやすい環境、今は高齢者が中心であり、子供が中心でないため。
	学校以外で信用できる大人と交流できる機会があればよかった。インターネット上に友達を作つて息抜きしていたが自分の子どもが同じことをしたらと思うとゾッとするし自分は危ない目に合わなかつたが今のインターネット上では危なすぎて心配。
	様々な職種の社会人の課外授業
進路選択	中学校の時点で『この高校に進むとこういう会社に就職出来る』『ここの留学先は英語圏の割にはアメリカ等に比べて金銭的に負担が少ない』などのキャリア構築相談が出来る場所
	県内に住み続けたい思いがあったが、大学進学を考えたときに進学先の選択の幅が狭かった。国公立私立問わず総合大学が県北・県南にあつたら良かった。
	高校生で、あらゆる職業の職場体験やインターンシップなどができるたら進路選択の幅が広がったと思う。
	秋田にはこんなに遊びどころがたくさんあるともっと教えて欲しかった
その他	子どもの頃は行政のサービスなどは望んでいないが、大人になって実家はあまり裕福でない中、子どもに不自由なく大学まで行かせてくれたので、親の仕事の時間の削減や子どもの手当の拡充をしてくれれば、もっと親との時間を増やすことができたと思う。
	差異や不得意も個性として受け入れられる社会的な価値観
	スカートの制服がいやだった。中学も高校も、制服がなければよかったです。

問20

あなたがいま、悩みや不安、生きづらいと思うことがあれば教えてください。

<主な回答>

子育て	育休や産休をとる際周りにどう思われるのか、子どもの相談ができる同性が身近にいないので保育園などすぐ見つかるか、など心配
	急激に進む少子高齢化により、自分の子の学習機会や就業機会等の悪化を懸念している。
	昨年夫と一緒に秋田にUターンした。なかなか子供が授からないので不妊治療を始めたが、1年以上の居住歴がないと補助金の対象外であることがわかり、移住者には冷たいと感じた。また、首都圏からのUターンであったが移住者向けの補助金の対象外だった。せっかく帰ってきたのに諸々対象外だったので秋田県に歓迎されていないような気持ちになった。
	子どもがほしいと思って結婚したが、それが正解だったかわからない。子どもを持つ=結婚以外の選択肢が広がると良いと思う
	一人っ子は可哀想だが、金銭的・時間的理由などで2人目以後の妊娠や出産を考えづらい
	子育て中ですが、人が1人生まれて生活費が増えたのにも関わらず、育休中のため子育て前よりもお金が無い現実が不思議でなりません。なぜ少子高齢化が呼ばれている今、子育て世代がこのような状況にあるのでしょうか？ベビーシッター券だのなんだと政策を立てているようですが、そういうことじゃないと思います。今、子育て世代にはお金が無いのです。
	とにかく先行き不安。子供たちをこんなところで育てていけるのだろうか。子供たちには早く秋田を出でもらいたい
	子どもがひとりいて、もうひとり子どもを持ちたいが、時間や金銭的にもかなり難しいと感じる。
生活	結婚して秋田にきたが、知り合いが少なく、やりたい仕事もできておらずつらい。
	分かっていたことだが、秋田県の賃金は都心と比較して安すぎる。大学の同級生と比較すると年収が半分以下。
	物価上昇しても賃金が増えない。出産後県外に転職した方が良いと言う気持ちが強くなっている。
	近いうちに結婚するのですが金銭的な面で不安を感じています。妻となる人は身体が強くなく、収入もそこまで見込めないので、私が頑張る必要がありますが、今の職場では収入面と将来性に感じています。転職を考えていますが、秋田県の企業は採用に対して疎いというか、危機感がなさすぎるかと思います。採用方法よりも職場環境の改善に対する取り組みなどできないものでしょうか？また、結婚するとき、助成金があるとおもいますが、なぜ30過ぎると補助金額が60万→30万まで減額になるのでしょうか？
	若者が集う場所が少なく、職場以外で知り合いが増えない。
地域	秋田県の存続。将来どんどん住みにくい環境になってしまふのではないか不安。
	地域に若い人がおらず、お祭りや町内会行事の継続が難しくなってきている。もっと楽しく活動したい。
	私は子供の頃や結婚していた時に暴力等受けっていました。今は離婚できていますが、精神障害者になってしまい恐怖で施設の居室から出ることもままなりません。また、大病をしてしまい、後遺症でとても辛いです。
相談支援	悩んでいることがあっても、相談したい場所がない。勇気を出して相談しても、結果自分の努力不足と思わせられるため、話したくない。
	私は精神疾患などがあるのでそういう人でも暮らしやすい世の中にしてほしい
	何かしらの障害をもって生まれた子供の支援が手厚いと少し安心できるのかも…？
障害者	障害者雇用で働いてるが5月末で解雇。再就職するにも40近い自分には無理。貯金もわずかしかなく生活ができない。発達障害者はひとりで生活できない。生きるのがつらい。
	不妊治療
	不妊治療の補助には年齢制限があるため、子供がほしくても諦めざるを得ない
ひとり親	ひとり親への支援制度が秋田県は他県に比べて少ないと思う。雇用促進に力を入れていてもその先の支援に続かない。正規雇用でも昨今の物価高騰で生活が厳しい。
	LGBTQ
LGBTQ	同性愛者であること。他者に対して性的欲求を抱かないことに関してこのような子供を欲しいかや結婚したいか等のアンケートが来ると少し申し訳なくなる。

問21

こうすれば秋田県がもっと住みやすくなると思うアイデアがあれば教えてください。

<主な回答>

子育て支援	こどもに関する支援に所得制限を設けないでほしい。 徹底的に子育てに予算を割いてほしいです。夢のような話かもしれません、保育園から大学まで学費無料、県内企業で育休を取りやすく、ベビーシッターさんを依頼するための補助金、等、子育てに関することに徹底的にお金を使ってくれるならいくらでも納税します。
	高齢化より少子化の方が将来的により懸念されると思うので、子育て中の家庭に対し、他県よりも手厚い金銭的（各種補助、祝い金制度など）・非金銭的（いざというときに安心して子どもを預けられる場所や親のメンタルケアの一元的窓口など）支援があり、それを県内外にアピールしていくと良いのではと考えている。
	子育て世代（特に30代、40代）は、現在の学生や新卒学生のような奨学金免除や減免制度がない。谷間世代だと思う。そもそも秋田に行きたい専門学校や大学が無くて、奨学金を借りて出費の多い県外に行ったので、地元に帰ってきて返済が苦しい。秋田県が日本で一番子供の割合が少ないのであれば、現役の子育て世帯が経済的にも安心できる施策が必要。明石市のような街になるとよい。（まるっきり同じではなく、秋田の子育て世帯に合わせたものを）
子育て施設	児童会館のみらいはあるが、山形のようにこどもが遊べるところが何個かあればいいなと思います。また、在宅ワークもできる職種があればいいと思います。ただ、児童センターという誰でも遊びに行けるところがあるので小学生はとても助かってます。他県にはないところもあるようなので。
	土地がたくさんあるから、子供達がもっと楽しく遊べるような、どこにも負けないくらい大きな遊具とかがある公園が八郎潟とかにできたら楽しいだろうなと思います。ただ広い野原ではなく。イメージは小岩井農場とかが近いですかね。あとは逆にここが住みづらいという意見を集めたほうがいいかと。
若者定着	経済的にもっと若い子達がチャレンジできる環境づくりをしてほしい。給付型奨学金の充実など。こどもまんなか、と言いながら、秋田に若い女性を残す、なんてトップが言うようじゃ話にならないと思う。若者が住みたい秋田を作らないと大変だと思います。
	子どもを増やすという目的に対して、若い女性の県内定着を目指すのではなく、男性の収入を上げるためのアプローチをすべきだと思う。周囲を見ていても、秋田に限らず女性が夫を連れて移住したというケースはまれで、夫に連れられて移住したというケースのほうが多いと思う。
地域交流	お年寄りがとても多いなかで小さい子を育てていくならばもっとプラス面に期待したい。赤ちゃん連れで出かけると必ず珍しいと声をかけられ、可愛がってくれる。もっと気軽に地域のお年寄りと子どもが交流する機会があればどうか？子どもをみんなの孫として扱い可愛がってくれれば助かる。（あわよくば、厚意でミルク、おやつ、離乳食を食べさせるお手伝いなど）。交流を通してミルク母乳？の質問がいかに馬鹿馬鹿しいか、靴下はかないと寒いなど昔と今の育児の違いを知って知識もアップデートしてほしい。
移住	何もしなければ、ただただ人口が減っていくのは分かりきっていることなのに移住に対してのハードルが高すぎる。秋田こそもっと移住者に手厚い支援をするべき。首都圏からの移住者への補助金対象について、23区内の居住者・勤務者等のみというのは国の制度を流用しているだけで県の気概が感じられない。23区だけでなく首都圏全体に広げてほしいと思うし、なんなら県外からであれば全員を厚く歓迎してほしい。
PR	新しいことに取り組んでいる（取り組もうとしている）企業や自治体をもっとPRしてほしい。昔ながらの秋田ではないことを知ってほしい。まずは県庁から。
	県内外の秋田に対する印象はだんだん悪くなっている。秋田をアニメ、映画、youtube等に積極的に露出させ、いい印象を県民・県外の住民に根付かせてほしい
スポーツ	もっとスポーツや芸術活動・娯楽に力を入れていくべきだと思う。実際、高校以降は強豪校への進学を目的として、秋田県外へ新高校生が流出してしまっている。それを防ぐため、もっとスポーツができる環境（学校のグラウンドや部活動、クラブチーム）を整備したり、芸術活動・娯楽ができる環境（音楽活動がどこでも気軽にできる、子どもが自由に遊ぶことができる施設、テーマパークなど）を整備したりすることが必要だと考える。
交通	娯楽施設の拡充が若者の流出を防ぐことに繋がると思うが、誘致は難しいと思う。自分が経営者側なら秋田に出店はしない。若者は娯楽を求めて都心に移住してしまうので、秋田在住者には都心までの娯楽交通費を補助するなどしてみたら面白いかも。秋田に生まれ育った以上、ふるさとには思い入れや誇りはあるが、秋田にないものを求めて都心へ出る。その都心へ秋田からでも金銭負担が少なく遊びに行けるとなると、多少は県外流出が止められる可能性はある。この補助金は直接的な県内経済活性に繋がらないものの、移住者減という県内経済活性化に寄与。
仕事	若者のための生活＆仕事協同組合（以下「LJコープ」）を作ること。組合員は共同住宅に入居でき、食材が支給される。また、仕事は、LJコープが指定する業務の中から、希望するもの（多数の場合は抽選）に従事する。組合員は、生活費に困ることも、仕事に困ることも、子どもの預け先に困ることもない。
その他	とにかく子供ファーストにしないと本当に未来がない。